

[illegible]

亜鉛鐵板輸出向先別數量表

(其2) (單位枚)

區分	向先	蘭領東印度	英領馬來	關東洲	滿洲國	中華民國	香港	比律賓	英領印度	露領亞細亞	暹羅	布哇	其他	計
昭和7年	B.W.G. No. 30	2,911,965	—	889,689	215,034	1,285,435	18,080	20,400	228,574	17,198	357,000	—	—	5,943,375
	其 他	76,272	—	464,066	53,940	244,776	300	53,816	37,168	14,780	—	—	—	945,118
	計	2,988,237	—	1,353,755	268,974	1,530,211	18,380	74,216	265,742	31,978	357,000	—	—	6,888,493
	B.W.G. No. 30	2,720,712	22,750	199,283	106,827	4,900	—	—	166,879	8,415	1,533,810	544	—	4,764,120
	其 他	5,912	—	387,460	28,457	3,046	—	35,288	—	40,500	5,400	—	—	506,063
昭和8年(自1月至8月)	計	2,726,624	22,750	586,743	135,284	7,946	—	35,288	166,879	48,915	1,539,210	544	—	5,270,183
	合 計	5,714,861	22,750	1,940,498	404,258	1,538,157	18,380	109,504	432,621	80,893	1,896,210	544	—	12,158,676
	B.W.G. No. 30	607,160	4,620	930,375	222,595	750,706	47,756	16,480	333,520	30,117	198,000	—	1,100	3,142,429
	其 他	93,655	3,990	471,637	43,280	156,779	2,230	3,770	36,368	6,449	—	260	2,020	820,378
	計	700,815	8,610	1,402,012	265,875	907,485	49,986	20,250	369,888	36,566	198,000	200	3,120	3,962,807
昭和8年(自1月至8月)	B.W.G. No. 30	1,698,899	174,176	309,500	166,158	56,750	—	1,700	21,902	365	1,865,976	—	—	4,295,425
	其 他	4,440	13,870	530,463	37,229	8,295	—	3,202	—	20,041	3,100	6,893	1,130	628,663
	計	1,703,339	188,046	839,763	203,387	65,045	—	4,902	21,902	20,406	1,869,076	6,893	1,130	4,924,088
	合 計	2,404,154	196,656	2,241,975	469,262	972,530	49,986	25,152	391,790	56,972	2,067,076	7,093	4,250	8,886,895

亜鉛鐵板輸出向先別百分率表

(其3) (單位%)

區分	向先	蘭領東印度	英領馬來	關東洲	滿洲國	中華民國	香港	比律賓	英領印度	露領亞細亞	暹羅	布哇	其他	計
昭和7年	B.W.G. No. 30	97.45	—	65.72	79.95	84.00	98.37	27.49	86.01	53.78	100.00	—	—	86.28
	其 他	2.55	—	34.28	20.05	16.00	1.63	72.51	13.99	46.22	—	—	—	13.72
	計	100.00	—	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	—	—	100.00
	B.W.G. No. 30	(52.29)	—	(69.76)	(66.54)	(99.48)	(100.00)	(67.77)	(61.43)	(39.53)	(18.83)	—	—	(56.65)
	其 他	99.78	100.00	33.96	78.96	61.67	—	—	100.00	17.20	99.65	100.00	—	90.40
昭和8年(自1月至8月)	計	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	—	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	—	100.00
	合 計	(47.71)	(100.00)	(34.24)	(33.46)	(0.52)	—	(32.23)	(38.57)	(60.47)	(81.17)	(100.00)	—	(43.35)
	B.W.G. No. 30	86.64	53.66	66.36	83.72	82.72	95.54	81.38	90.17	82.36	100.00	—	35.26	79.30
	其 他	13.36	46.34	33.64	16.28	17.28	4.46	18.62	9.83	17.64	—	100.00	64.74	20.70
	計	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00
昭和8年(自1月至8月)	B.W.G. No. 30	(29.15)	(4.38)	(62.53)	(56.66)	(93.31)	(100.00)	(80.51)	(94.41)	(64.18)	(9.58)	(2.82)	(73.41)	(44.59)
	其 他	99.74	92.62	36.85	81.70	87.25	—	34.68	100.00	1.79	99.83	—	—	87.23
	計	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	—	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00
	合 計	(70.85)	(95.62)	(37.47)	(43.34)	(6.69)	—	(19.49)	(5.59)	(35.82)	(90.42)	(97.18)	(26.59)	(55.41)
	計	(100.00)	(100.00)	(100.00)	(100.00)	(100.00)	(100.00)	(100.00)	(100.00)	(100.00)	(100.00)	(100.00)	(100.00)	(100.00)

輸出可能であらうと云ふ想像が出来るに止まるのである。

季節的に見ると7年下期から急に増加したが、之れは2年やそこらの短期間で結論付けることは寔に危険で、7年下期の劇増は寧ろ爲替關係に起因して居る様に思はれる。即ち7年1月より6月迄は2志3/8から1志9片の間を彷徨して居たものが下期に於ては俄然1志7片より12月に於ては1志2片近くまで追ひ込まれた爲め輸出採算が甚だしく有利に轉回したと見るべきで此増加は自力の發展より他力の恵が預つて力あると思はれる。

又7年も8年も1月から3、4月の更までが甚だしく不振なのは如何なる原因によるのであるか不明な爲め之が永續的のものか一時的現象か判断に苦しむが相當研究を要するものと思ふ。

3) 次に第2、第3表に移る。之は平板と浪板の輸出が如何なる状態であるかを見る爲めに作つたものである。又第1表と異つて疏數で現はす事が出来ず「枚」を以て計上したことも承知ありたい。

此表で見ると昭和7年は平板が稍々優勢であつたが、昭和8年は寧ろ浪板が優つて居る、然も其差も頗る僅少で通算すれば大凡半々と見ても差支あるまい。國別に見ると大部相異がある様で中華民國

國の如きは殆んど平板許りなのに反し暹羅は浪板の需要が旺盛である。是等は皆其國情に依ることと思ふが將來に於ては充分研究すべき事項の一つであらう。

4) 躍進亦躍進の最近の我國鐵鋼界は洵に目覺ましいものがある。特に此黑板は殆んど止まる處を知らざる勢を以て邁進して居る。此狹隘なる内地市場のみを以てしては當然行き詰まざるを得ない運命にあるが之を打開するは一に海外の進出である。廣汎なる市場は市況を安定せしむる最良の方法である。

之が爲めには是非販路の調査を必要とする、然るに現在に於ては黑板は勿論一般鋼材に亘り生産輸入等供給に關する調査は可なり綿密に行はれ業界に寄與すること多大であつたが切望の度が薄かつた爲め販路に對する調査は全然缺如して居る、轉向せんとする鐵鋼界に於ては豫め是等の調査に専念する必要がある。行き當つての調査は手後れである。將來を慮る者は今より今日より著々と此調査に手を染めなければ後に至つて臍を噛む悔を残すであらう。

2、3月積先賣出協議會—据置

月日場所 12月5日製鐵所東京出張所

出席者 製鐵 4 社及東西問屋

議 事 2、3 月積先物賣出に關する件

1、値 段 其後海外の軟勢一向改まらず、前月に比し復も 2、3 志の下鞘を示し爲替關係も加味されて河岸着にても、1、2 圓の値下りを見た。建値と外注値段との値軸を餘りに接近せしむることは多くの危険を含まるゝを以て、理論上より云へば若干の値下げを希望したくも手持關係其他の環境より今は特に据置きを希望すとの事にて當所としても、強いて上下に動かす材料もなく希望通り据置きと云ふ穩健さを以て今年最終の協議會の幕を閉じた。

2. 3 月 積 先 物 協 議 會

品 種	入電沖着	河岸着値段 (爲替 1/2-1/6)	希望	決定	備考
角 鋼 ベース	£ 5-3-0	¥ 112.87	106	106	据置
平鋼(本所分野)	5-3-0	112.87	106	106	"
大 型 山 形 鋼	5-4-6	114.12	105	105	"
工 形 鋼	4-17-9	108.50	101	101	"
溝形鋼(吋寸法)	5-11-0	119.53	114	114	"
" (耗寸法)	5-0-3	110.58	101	101	"
丸 鋼 ベース	£ 5-3-0	112.87			
" 9mm	5-18-6	125.78			
中 小 型 山 形 鋼	5-3-0	112.87			
鋼板 6mm 以上	6-12-0	137.02			
" 4.5mm	6-19-6	143.26			
" 3.2mm	7-3-3	146.78			
" 2.3mm	6-9-0	141.36			
" 1.6mm	6-16-0	147.17			
黒 薄 鋼 板	12-10-0	255.45			
線材 B.W.G.No.5	- -				
鉄力板 170 lbs	1-13-10	30.35			
" 100 lbs	0-18-14	16.50			

2、數 量 例月並みの 3,000 吨程度の賣出しとした。

3、目切に關する件 目切れに就ては過去に於て夫々決定事項ありて、當所としても強いて今直ちに之を動かす意志はなきも、標準規格にも ± 3% を許容する規定もあり現在日本製鐵への引繼等にて、事務煩雜の折なれば暫くの間出來得る限り目切れは問題にせざる様希望し買手も希望に添ふべしと云ふことであつた。

2、3 月 積 角、平 定 期 賣 出 協 議 會—据置

月日場所 12 月 5 日 製鐵所東京出張所

出席者 製鐵 4 社及東西定期團

議 事 2、3 月積角、平賣出に關する件

角、平に就ては伸鐵分野以外に於ても、外注を標準とせず獨特の値段にて決定されあるが、今回も前月と異なり軟調となり、伸鐵も年末に入ると共に危険性も増加し來りたるを以て、是等を加味し 2 圓下げと買手希望ありたるが製鐵所は角、平定期團は東西の一流問屋を以て結成せられ、然も角平全部を引受けながら僅少なる伸鐵等を理由に市場を指導し得ざるは寔に遺憾である、定期團に全部を引受けしむると云ふ事に此禍根あるにあらずやとも思はる故定期が常に値段を値切る機關となるに於ては將來に就て考慮せざる可らず、今月の如きも別に値下げすべき理由もなき様思はるゝを以て据置きとすべしと提案し、買手も種々協議の結果將來の定期に就ては今迄と同様にされたと云ふ條件の下に据置きに同意との返事ありたるが之に對し製鐵所としては定期團は前述の通り有力者の集團にて製鐵所の角、平全部を包含するものなれば、單なる買手と云ふ義務的方面のみを考へず、製鐵所の角、平分野を脊負ふて市場を指導すると云ふ、權利的方面にも醒められたしと云ふことにて大體從前通りの組織を以て定期繼續を内諾し、何れ詳細は決定すべしと云ふことであつた。

記

角	12mm-22mm	90圓	平	36mm以下	90圓
	25mm-50mm	96圓		70mm以上	99圓
	55mm-以上	103圓			

2、數 量 數量は市場にて是非切要とあれば相當數量は出すべきも不取敢今月は小型 1,000 吨の中型 500 吨程度の引受となつた。

三 軌 會—据置

月日場所 12 月 2 日 製鐵所東京出張所

出席者 三井、三菱、製鐵

議 事 重軌條賣出に關する件

1、値 段 I R M A の公表値段は別表の通り前月より 6 志の高値を報じ居るも、此値段の確實性に就ても疑問もあり、單なる趨勢の判斷材料に留まるが兎に角海外市場に於ては我市場に影響を及ぼす程大なる變化あるものと認められず、他方内地需要は弗々の程度にて年度變りを待つ形勢なるを以て之れとて値段を動かす力もなき故今回も前値据置きの次記に決定した。

記 重軌條 150 圓(据置)

2、長さの米突化 重軌條の長さの米突化に就ては從來一部分に實施せられありたる處 1 月積よりは重軌條の長さは全部米突化することとした。猶從來の呖物は實需家の便を考慮し當分の間エキストラを附して受注することとした。

Sanki-Kwai

Tokyo, December 2nd, 1933.

Heavy Rails and Splice Bars

I. R. M. A. Price (Average)

Cif. Japan	£ 8-11-0
Ex. @ 1/2 3/16	¥ 144.63
Interest 1%	1.45
Duty	21.71
Landing charges	.80
ton of 1,016 kgs.	¥ 168.59
ton of 1,000 kgs.	165.94
Say	¥ 166.00

2、3 月 積 9mm、中 丸 賣 出 協 議 會—賣止め

月日場所 12 月 6 日 製鐵所東京出張所

出席者 關東鋼材、製鐵、4 社及東西定期團

議 事 2、3 月積 9mm、中丸賣出に關する件

1 買手希望 9mm、は環境よりして値下げを希望するの已むを得ざる状態に至りたるが今回は 3 圓下げとせられたしとの希望ありたるに對し、外國値段、伸鐵等の状態及び地場の關係よりしても此際値下げするは徒に市況悪化を助長するものなれば据置きが可なるべしと提案したるも、買手は値下げ無くては到底堪え得ざるを以て寧ろ今回は賣止めが最良の策なるべしとの兩者の意見を見たるを以て其旨關東共販へ移牒した。中丸は前回通据置きとした。

外 注 値 段

	9mm	中 丸
cif	5-13-0	5-6-0
河岸着(1/2 1/4)	121.41	114.98

1、2 月 積 堅 板 會 賣 出 協 議 會—据置

月日場所 12 月 8 日 製鐵所東京出張所

出席者 三井、岩井及製鐵所

議 事 1、2 月積スロップ用鋼板賣出に關する件

1、値 段 外注が前月より 5 志方下押したる爲め河岸着に於ても約 3 圓 50 銭採算安となりたるが未だ建値を變更する程の力も無く賣手買手共据置きに異議なく決定した。

2、数量 スコップ板は未だ積遅れ緩和されず當所としても一應整理したき爲め今月は賣出中止を希望したるも買手側は急劇なる減少は苦痛を感じるを以て1、2月積を中止する代り本月より向ふ3ヶ月間は前月より100 吨を減じて200 吨づゝ賣出すこととした

3、外注値段次の通り

Jan. /Feb. Shipment	
Shovel Sheet	
1'85mm×4'×8'	cif 8-12-0
Ex. 1/2. 1/8	¥ 145'18
Duty	32'01
Charge	2'50
1,016 kg	¥ 179'69
Per 1,000 kg	¥ 176'85

2、3月積鋼板賣出協議會—3 圓下げ

月日場所 12月8日 製鐵所東京出張所

出席者 三井、安宅及製鐵

議 事 2、3月積鋼板賣出に關する件

1、値 段 流石の鋼板市場も昨今は追々と沈静状態となり、今日では45も60同じ値段の175圓見當を唱へられる様になり、外注は何と思つたか下放れて先月の7-3-0が6-18-0となり、河岸着も7圓以下の下値となり建値とも大部鞘寄せを見た。他鋼材の振合より見ても餘り外注値段に接近せしむる事は一考を要するを以て5圓程度の値下げされたし。

製鐵所の意見は今日の値段にても決して外注値段より上廻る程にても無く、市場も高値唱へなるのみなるを以て強いて値下げする必要は認められず、若し値下げを要すれば寧ろ賣止しては如何と謀りたるも買手は夏季不需要期なれば兎に角今日の需要期に賣止するは寔に迷惑に付き是非値下して賣出されたしと提案あり彼之參酌して3圓下げるの次記に決定した。

記 45mm 137圓(3圓下げ) 60mm 134圓(〃)

2、數量 大凡250 吨程度の賣出しとした。

3、外注値段

Checkerd Plate	
Tokyo, Dec. sth. 1933.	
Cif	£ 6-18-0
Ex. @ 1/2 3/8	¥ 115'20
Import duty	25'06
Charge & int	2'50
L. T.	¥ 142'76
K. T.	140'50

12、1月積鉄力板の引受

内容こそ違へ現はれた總計は全く前月と同様な422 吨である。

先づ向先きから見ると先月は東西殆んど同數であつたのが今月は東京が各其の本領に立還つて大阪が増加し東京が減退した。

品種別に云ふと近來の趨勢たる100lbsの需要減を如實に現はして遂に100 吨に満たぬ數量に陥落し、170lbsは追々と増加を辿り初めた。

引受は勿論申込通りである。

12、1月積鉄力板申込及引受高

區分 社別	申込高	引受高		
		100lbs	170lbs	計
東 京	171	38	133	171
大 阪	214	39	175	214
名 古 屋	18	3	15	18
其 他	19	4	15	19
計	422	84	338	422

1月積珪素鋼板の引受

珪素鋼板は市場向の他鋼材とは全然其趣きを異にして、概念としては思惑が働かない。面白いのは申込で先月も今月も10 吨位の相違で少しも浮動せず堅實な足取りを見せて寧ろ不思議な程であるが此平和の状態もそうは永くは続くものでない色々其原因を數へて居る者もある。内容を見るもT級品が増加率が最も多い、之れは重工業の勃興に伴ふ變壓機の需要を物語るものである。

前月も同様であつたが漸次高級品のDに集中されてBが減少する傾向を續けて居る。寸法別に云へば三菱向の0'43が減つただけ一般向の0'35に代つて行つた。

1月積珪素鋼板申込及引受高

品 種 寸 法	B 級	C 級	D 級	T 級	計
0'35mm	395	—	270	570	1,235
0'43mm	120	—	—	—	120
0'5mm	20	—	—	—	20
計	535	—	270	570	1,375

1、2月積鋼板の割當—引受315 吨

鋼板は恒例により申込は取らず割り當てた。

何處も此處も能力不足で鋼板の如きも前月迄は何か當所の數量で統制出来るならばと成る可く多く賣り出して見たが、中々此思惑の大勢と實需を充し得べくも無いと見極めて今月よりは常態に選つて300 吨程度の賣出に止めた。處が皮肉なもので前月200圓以上を唱へて居た市場も今日に於ては175圓見當に軟化し甚だしいのは12月積で150圓以下の賣物さへ出たとの事である。

鋼板の中心は45mmと60mmである、其内でも60mmも最高の需要がある。前月からは耳付を出したが一寸苦しい値段との事であるがそれで丁度よいのではあるまいか。

	引 受 數 量	
	定 尺	耳 付
4'5mm	88 吨	32 吨
6'0	90	65
8'0	5	10
9'0	15	10
計	198	117
		315

2、3月積小型山形共販賣出理事會—据置

月日場所 12月4日 製鐵所東京出張所

出席者 釜石、製鐵及三井

議 事 2、3月積小型山形鋼賣出に關する件

1、値 段 前月下放れを見せた外注値段は其後訂正される模様なく、猶若干の軟調を見せた爲替は逆に4ポイン硬化したる爲めcifの軟勢と相殺され河岸着にては5mm厚を除き大體に於て僅少の値下りに留つた。

猶歐洲大陸のカルテルの崩壞の流説もあつたが、照會の結果其心配もなき模様である、又内地市況は前月に比し微弱ながらも軟勢を續け大阪と東京と喰ひ違ひあるものは伸鐵關係によりたることと考察せらる。

市中在庫は東西合せて先月の2,800 吨に對し今月は3,200 吨と400 吨許りの増加となつたが之れは共販の積出一掃と相俟ち市中賣行不振を物語るものと思はる、叙上の如く總ての條件に於て値上げの可能性を見出せざると同様強いて値下げする必要も無きを以て据置きとせられたしとの買手希望があつた。

理事會の意見としては値下げの必要あるとすれば餘り手後れとなるは一考を要するも、餘りに市場に先走ること感心したる方策に

あらざるを以て彼是考慮して買手希望通り次記の通り据置きと決定した。

記 A 108圓(据置) B 100圓(〃) C 95圓(〃)

2、數量 例の通り申込を見たる上決定のこととした。

3、雜 久しく積遅れを啣たれた小山も兩所社共其整理に努めた結果着々整理され、現在にては、製鐵所構内渡等の僅少なものを除く外大體順調となつた。何時もの例ではあるが市況小甘くなると積出も順調となつて、弱氣の拍車となるのである。

4、締切 12月9日

Small Size Equal Angles Quotation

Tokyo, Nov. 6th, 1933.

Specification	Hamburg Tel. Nov. 3rd, 33.	Exch. @ 1/2-3/8
$\frac{1}{8}$ " \times $\frac{7}{8}$ " (3 \times 20)	£ 6-6-0	¥ 132.01
$\frac{1}{8}$ " \times 1" (3 \times 25)	5-16-9	124.31
$\frac{1}{8}$ " \times 1 $\frac{1}{4}$ " (3 \times 30)	5-12-6	120.08
$\frac{1}{8}$ " \times 1 $\frac{1}{2}$ " (3 \times 40)	6-1-6	128.27
$\frac{3}{16}$ " \times 1 $\frac{1}{4}$ " (5 \times 30)	5-12-6	120.08
$\frac{3}{16}$ " \times 1 $\frac{1}{2}$ " (5 \times 40)	5-7-9	116.82
$\frac{3}{16}$ " \times 1 $\frac{3}{4}$ " (4 \times 45)	5-7-9	116.82
$\frac{1}{4}$ " \times 1 $\frac{1}{2}$ " (—)	5-7-9	116.82
$\frac{1}{4}$ " \times 1 $\frac{3}{4}$ " (6 \times 45)	5-7-9	116.82

2、3月積中板共販賣出理事會—据置

月日場所 12月6日 製鐵所東京出張所

出席者 東海、製鐵及4社

議事 2、3月積中板賣出に關する件

1、値段 外注も内地市價も前月に比し1歩々々共販建値に鞘寄せの状態の今日に於ては上へも動かせず、さりとて下に動かす程の弱氣にもなれず、結局前月通り据置きと云ふことに兩者の意見は直ちに一致した。

記 1.6mm 2.3mm 3.2mm 4.5mm
142圓(据置) 137圓(〃) 132圓(〃) 124圓(〃)

2、數量 市中在庫は東京 3,200 噸、大阪 5,800 噸計 9,000 噸と相當の數量を擁して居るが市中はそれ程悪化せず、寧ろ底入れの状況を呈して居る。引受は市場の申込を見たる上適當に處置することとした。

3、締切 12月12日

4、外注値段次の通り

Chuita February/March Shipment

6th Dec, 1933

Feb. /March Shipment

1.6mm	£ 6-15-0	¥ 145.85
2.3	6-8-0	140.06
3.2	7-1-9	144.61
4.5	6-10-5	135.22
		Ex. 1/2 1/4

2、3月積中山共販賣出理事會—賣止め

月日場所 12月6日 製鐵所東京出張所

出席者 鋼管、東海、製鐵及東西定期團

議事 2、3月積中型山形賣出に關する件

1、値段 a、買手希望 中山は近來外注値段は殆んど參考とならず度外視されあるも一應參照すれば、cif 若干値下りを見、一方内地市況は漸落の一途を辿り前月値段と同値迄陥落し、在庫は豊富ならざるも特に賣行不振なる爲め2圓下げとされたし。

b、理事會 理事會の意向は此際値下げするは徒に弱氣に拍車を

加ふるものにて手持筋は却つて困却するものと思はる故今回は据置きとすべしとの提案があつた。

買手は之に對し中山は元來丸鋼と因果關係ありて中山を飛び離れて高値に置くことはアウトサイダーをして中山に進出せしむる起縁を作るを以て其意味よりも据置きは無理なるのみならず、市場關係より見ても現況に照して2圓下げにても現在の賣値にて買ふ程にて是以上買進むだけの環境にもあらざるを以て是非2圓下げとせられたしとの話ありたるも、賣手は今回の賣出しは2、3月にて寧ろ安値販賣は避け度き故買手が強て2圓下げを固執するなれば組合は賣留めとすべしとて次記の通り決定した。

記 1、今月は賣止め 2、定期は之を以て全部打ち切りとすること

3、今月は前月値段以上なれば販賣することあるべし 4、定期の更改に就ては買手側より繼續の希望ありたるに就き理事會にては大體前回と同様の條件にて承諾し、細部に就ては何れ協議の上改めて正式に決定すべし。

Quotation for Chugata Angle

6th Dec. 1933 (Tokio)

Mitsubishi Shoji Kaisha, Ltd.

本月入電

Cif. Price	£ 5-3-0
Ex. @1/2 1/4	¥ 86.74
Duty	25.06
Charges	2.50
	¥ 114.30
	112.50 per 1000kg

11月中三港輸入概況—不變

突飛から常識へ還るは速いが、常識の訂正には中々時間を要する。三港輸入も7月の4萬噸が翌8月には半數の2萬噸に減じ、9月には早くも1萬噸臺を出現したが、扱て其後は一高一低、今月も約1萬3,000 噸で前月と略同様である。

勿論一寸先は暗で、特に外注の如きものに將來を卜するは寔に危険千萬ではあるが、市況も灰汁抜けこそせざれ、拾へば未だ未だ良いものも隠れて居るし、時機を視へば何とかなりそうなものも想像されるしするので此1萬噸臺を割るには相當間があるのではあるまいか。

例に依り上から品種別に主要なものを検討する。

丸鋼、大阪の400 噸は50—150 と云ふ、視ふべき處を視つた市場向品で、神戸、横濱は特殊品である、丸鋼は今までに約3萬噸入荷した。此内には相當の市場向もあらうが特殊品の増加が其數量の主因となして居ることは否めない事實である。將來の鐵鋼は兎に角非常時に對する鐵鋼の需要の趨勢に就て充分考ふべき資料と思はれる。

角、平は本年の需給關係から見れば平凡と片付けさして頂いても大して苦情はあるまい。然し考へさせれるのは平の總計1萬3,000 噸で總需給の30%に近い數量の輸入を見たことと云ふことは残念である。

山形鋼、等山は急減して400 噸となつた。然し、未だ此隆に隠れた保税物も可なりの數量に達する模様であるから、いざと云へば税濟される危険は多分に含まれて居る、そうすれば此勘い數量も決して安神しては居れぬ譯である。

溝、工、に就ては代用の利く寸法が勘いのと製鐵所の統制によつて減少しては居るが溝形は突飛な高値が市場で續いただけに總數としては多量である。

鋼板、鉄力を除いた輸入の王座鋼板(0.7mm超)は本月も2,000吨を保持して居る其内神戸、横濱は問題外として大阪の内容は1,100吨が解體船のもので中板340吨、厚板740吨と云ふ振合である。

同じ鋼板でも0.7mm以下の税済は今は愈々絶滅した。他に比して昔の多量を思へば感慨無量のものがある。

鉄力、鳥の正に死せんとするや其啼く聲や良しで早晩没落の運命にある鉄力も現在の輸入は寧ろ活潑で一向減退せず先月に比しても1,000吨以上の増加である。

線材も水物の本性であれだけの供給を受けて製品も軟化しながら未だ其跡を絶たぬ。

港別に見れば神戸港は昔の殷盛の影は消えて益々衰運を辿り今日は1,000吨を陥落したのに反し大阪は漸増して8,000吨に到らんと居る、横濱は輸入減の大勢に伴つて3,000吨となつた。

累計に於ては7年の12萬吨に對し今年は26萬吨で正に2倍となつた。此大勢より押せば日本全國としては本年中には35萬吨位には達するのではあるまいか此輸入數量は丁度外注防遏華かなりし昭和5年に匹敵するもので、其時は内地生産180萬吨であつたのに對し本年が僅に250萬吨を超すと思へば洵に躍進的な我鐵鋼界と非常時の全貌を窺ふことが出来るのではあるまいか。

プラツセル齋藤囑託通信

11月12日發信 先週の市況は少々持直しを傳へ愈々棒鋼型鋼竝に鋼板には輸出向各2志6月の値上を決定せりと申居候へ共未だ共販の値段表には變化を見ず候へ共而し來週は實行のことに存居候半製品も英國向相當の取引成立幾分値上を見申候鋼板類は引續き日本向の商談進められ居候

東西市況一落ち付き

前旬は若干の期待を懸けて居た來勘が一向利き目なく寧ろ却つて賣行不振となつたので、周章て出した利喰筋や換金筋の投げ物らしいものも現はれて市場の空氣を惡化せしめて引き立たなかつたが、今旬はそう云ふ物も一巡の形となつたのと、一昨年あたりと違つて問屋の懐具合が格段と豊富になつた爲め損して迄賣るのは馬鹿らしいと覺悟を定めたに原因してか、丸鋼を除いては月末を保證する程強固のものとも見られては居らないが一應は落ち付き模様となつたと云はれてゐる。猶此氣配を助長したものは製鐵所の先物を初め組合の値段が据置きか賣止めと云ふ下支へ若しくは強氣材料を呈供したにもよると見られて居る。

東京市況

丸鋼 ジンクス丸鋼ベースは益々其本領を發揮して他鋼材の落ち付きを横目に弱腰を脱することが出来ず落ち行く先も何處やら今の處見當付かずと世間から見離されてゐる。9mmも其御相伴をして賣止めも利かず放浪の旅を續け、中丸以上は環境安に崇られて伸び悩みを傳へられて居る。

角、平鋼 角の15mm以下は大阪の伸鐵物が96圓見當で入手出来るとの事に鈍調であるのに反し19以上は品薄に小睨りと傳へられ、平も民間分野物は前旬通り所謂順調過ぎる入荷に軟調を改めず、⑤分野は積遅れもあつて手許不如意の爲め賣行は捗々しくはないが下支へと見られて居る。

型鋼 今旬の出色は中山である。6日までは腐り切つて居た中山が共販賣止めの聲を聞くと同時に9月の名古屋の時と同様俄然形勢を一變せしめて硬化を傳へらるゝに至つた。こうなると今迄見送つて居た實需筋が急に切れたオフアークの延長を強請して決めて來ると云ふ翻轉振りで、東方の大手筋も等邊100圓不等邊103圓

の申合せをし此値段の實現も近いと見らる程となつた。大型物は過般來四圍の壓迫に堪えず市場も氣分が腐つて厭氣に押目を迫つて居たが、元來品不足の上に最近羅津向とかで溝の65×125や其他で5、600吨出たり、90×300が西路で實需に買漁られた事などが因をなしてボツボツと醒めかけて、大型等山も1、20錢戻し其他も大體下げ止りとなり前旬までの不味狀態が若干改善されたと傳へられて居る。

鋼板 前旬と同様底入れ狀態と見られて居る、1'6は外注懸念もあり大して期待も懸けられず大口も見當らないと云ふ前旬通りの商狀を續け、2'3は4×8が200吨許り拾はれて氣を好くして居る3'2は噂の羅津が2'3に代るとか、いや2'3で出るとか噂の繼續と其他にも見積り物が出そうだしするので安値に買はれて駢り傳へられ、4'5は厚板に押されて稍軟化し9'0以上は流石の箱根山も大阪の軟風を防ぎ兼ね今旬に入ると共に西安に染つた感があつてどうやら臺割れが成行となつたらしいが大阪程劇しい模様とは見られては居らぬ。

大阪市況

丸鋼 時雨去來して師走らしい氣候である。木枯に吹き散らされた木の葉の湖面に浮ぶ姿を見よ。風次第で波のまにまに上下左右にもまれて、どこへ漂ひつくのやら見當もつかない。これが世界經濟の姿であり、國際商品市場の素描である。我國鐵鋼市場も未だ世界市場の支配より脱する域にまで達してゐない見え昨今の内地市場は別段目立つた惡材料はないようであるにも拘らず氣配は外注安と相俟つて軟調の一途を辿つてゐる。

6mm及び8mmは最近賣行捗々しからざる所へ伸鐵品のデリバリー圓滑なる爲め一般に氣を惡くし從つて相場は辛うじて10圓臺を維持してゐる。9mmは伸鐵共販の統制徹底を缺き從つて先般製鐵所の値上げ發表もさしたる効果もなく氣配は鈍重保合である。12mmは民間メーカーよりの荷廻りは順調ならざるも伸鐵品の安賣のため相場は頭重い、ベースものは一般メーカーの強腰にもかかわらず問屋筋では先行軟弱を氣構へて見送りの態度を持して居り從つて相場はジリ貧歩調を辿つてゐる。中丸50、55、60等は當所販賣部の市場統制の裏をかく某民間メーカーよりの市場手當のため相場は急反落を演じたようである。70竝に90は極度の品掠れにて前者は12圓、後者は13圓50錢と手堅い。太丸は商内の妙味には乏しいが先づ採算點維持。

我が助言君誤てる寒さかな

角、平鋼 角鋼細物は伸鐵品に押されて不冴。25mm以上の當所分野物は手當薄と相俟つて比較的カツチリしてゐる。38mmは最近1、2民間メーカーより相當纏つた積出しありしたため先旬來80錢方の暴落を演じた様子である。平鋼38mmは伸鐵品の出廻り順調にて先旬來50錢方の急反落を見せてゐる。6mm、竝に9mm、12mm等民間寸法ものは丸鋼の不振に連れて、7、80錢方下押した。大形平鋼は伸鐵品に押されて全く浮ぶ瀬がないと云はれてゐる。

型鋼 小形アングルは伸鐵方面よりどしどし入荷あり一方地方筋は總見送りにては商内は全く停頓狀態にあり目先も何等刺戟材料見當らざる所から氣配は軟弱と云はれてゐる。中形アングルは賣行は良好ではないが共販よりの荷廻り不順調なるため相場は辛うじて10圓臺を維持。反之中形不等邊アングルは市中極單なる品掠れにて11圓以上を唱へられ就中90×125は橋梁用として多量に消費されるので12圓と光つてゐる。大形アングルは概して品掠れであるが何分にも先般來需要一巡の有様にて從つて相場は伸びそうで伸びな

い。チャンネル及びジョイストは當所よりの積出し少きため市中在庫は豊富ではないが昨今賣行が拂しからざる所から氣配は茲許一服
鋼板 1,2 中板は思惑買も昨今では一巡し實需筋の見送りと相俟つて相場は下押し氣味にあり。然し四圍の事情からして目先大幅の値下げはあるまいと見られてゐる。厚板は 6mm を除く外一般にアウトサイダーよりの荷廻り良好なるため商内は妙味に乏しい。

線材 製品界も底入れの模様であるがまだ原料高の感あり従つて買手は日和見的態度を持し従つて荷動き拂々しからざる所から相場はジリ安歩調を辿つてゐる。目先尚好轉すべき材料不見當。

鐵力板 仕事關係により先般來相場はノミナル乍ら手堅く保合つてゐる。然し巷間傳ふる所によれば最近爲替の關係で佛國品の先物約定が相當出來たとの事にてこれら軟材料のため目先も依然凡調裡に推移するであらうと見られてゐる。

販賣旬報 第 351 號 昭和 8 年 12 月 21 日

製鐵所販賣部

昭和 8 年を送る

癸酉の歳も餘す處旬日を以て將に逝かんとし、街頭と云はす人の心と云はず總ては焦燥の二字に彩られて靜心なき有様である、今年の旬報も愈々之れが最後かと思へば「麥食ひし雁と思へど別れ哉」で、何となく名残の惜まるゝ心持がする、まして日本製鐵會社の創立を目前に控へて或は是れが製鐵所としての販賣旬報の最終刊になりはせぬかとも考へれば愈々感慨無量である。

さはれ回顧吟嘆は人をして消極的ならしむるものではあるが、又一面將來を卜し戒め勵ます積極的材料たるを以て、改めて昭和 8 年鐵鋼界が踏んで來た道を振り返り見て明日の糧としよう。

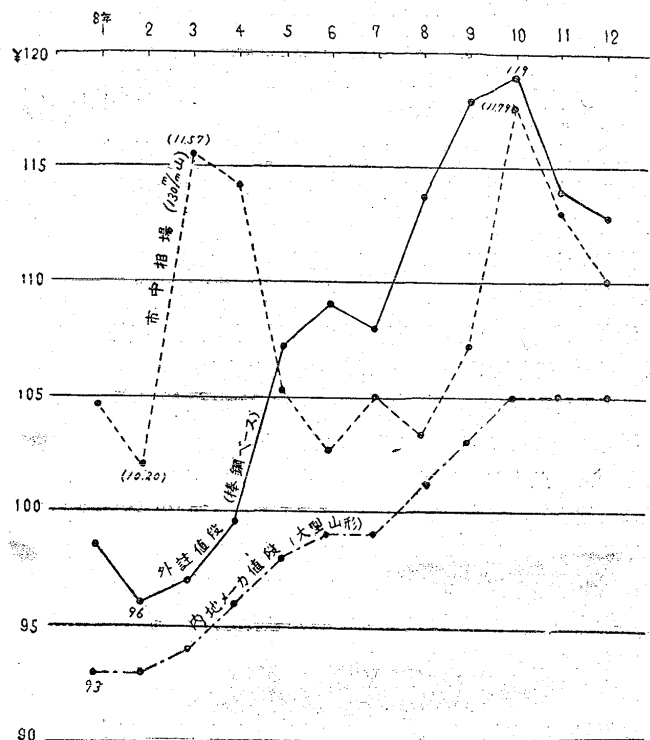
昭和 8 年の大觀として別圖を見られたい。

我鐵鋼價格を左右する海外値段は 10 月を最高峯として 1 月より概ね上伸の道程を見せ 5 月には完全に 100 圓の線を突破したのである。斯る結果を生じた原因を探めれば先づ第 1 に 6 月 1 日より實施された大陸鋼材國際販賣組合の結成された事を挙げねばならぬ、其が爲め 5 月に於て一齋に昂騰氣勢となり 10 月まで其堅調を保つて居たが其後輸出の不振等に依り、何處も同じ割當問題が擡頭してクラブツクが 12 月末日を以て脱退するなどの噂により一沫の暗影を投じ漸次軟化の傾向となつた、然し最近の報導によればクラブツクも 1935 年まで加盟を決心したとも云はるゝを以て或は事無きを得るのではあるまいか。又他方消極的ではあるが我國に執つて幸したのは爲替關係である、即ち本年は徹頭徹尾 1 志 2 片臺を往復して海外の好調を其儘映し出して之に邪魔せなかつた事である

従つて内地メーカー値段も特別な品種又は特異の態度を採る者以外に在つては概ね平靜に一步一步堅調を辿り、製鐵所先物値段も 6 月に於ては棒鋼遂に 100 圓臺に乗り、8 月に於ては昭和 4 年 2 月の 102 圓と對記録となり、9 月、10 月と矢繼早に此記録を突破して遂に 106 圓の最高記録を作るに到つた、然も 1 ケ年を通じ 1 回も値下げ無しと云ふ珍らしい年であつた。

之を綾取る市中相場は如何であつたらう。昭和 7 年 11 月の狂奔相場の跡を受けて一時沈靜狀態を呈して或はその儘沈黙するのではなからうかとさへ危まれたが、3 月に入ると共に俄然實需と人氣と相俟つて米國金融恐慌など中に無く、頻りに奔を續け、大體に於て外注値段を遙かに突破する高値を呼ぶに到つたが其後再び沈滞し 4、5 月の交より外注以下に影を潛む状態となつた、然し過去とは事變り依然として内地メーカー値段の上軌を保ち續けたと云ふことは注目し得るものである。然も 10 月の秋冷を迎ふると共に數量より

昭和 8 年中鋼材諸値段の展望



見れば大なる過不足も無いと思はるゝに不拘非常時意識の爲め極度に刺戟されたのが主因となつて再び昂騰また昂騰の商狀を呈したが 11 月に入るに及び強氣材料の出盡しと氣分の緩和により急に人氣の冷却となり、従つて手持の重荷と歳末の整理に氣を腐らし 12 月に於ては或は賣止め或は賣出數量の減少などそろそろ種々の策術を弄して僅かに生命を保持する状態となつて今日に及んだのである。

今年の供給に就ては未だ正確な數字を得ないから適確には云へぬが上半期の其を標準として考察すれば、内地の生産は上半期にて 120 萬噸に近い數量となつて居るから之れから押せば本年は恐らく 250 萬噸に達するであらう、之を前年の 1 ケ年 190 萬噸の生産に比すれば 3 割の増加で如何に内地メーカーが恵まれたか想像に難くはあるまい。

輸入に於ても上半期だけで已に 23 萬噸と云ふ近來稀有の數量であるから年内には 50 萬噸近いものとならう、之も前年の 22 萬噸に比すれば正に倍以上の數量で恐らく外注防遏の聲喧しかつた昭和 4、5 年の交に匹敵するものであらう。

此兩者を合計すれば開關以來の高記録たるは間違ひの無い處で或は 300 百萬噸を突破するであらうが、さすれば 7 年の 210 萬噸に比し 5 割近い増加を示すものとなる。

龐大な數量を吐吞して猶且つ斯の如き好調の 1 年を経過し得たのはそも何に原因するであらう。

十指の指す處は軍需の勃興である。1936 年を目指して國を擧げての精進は國防である。本年も來年も 20 億以上の豫算の半ばに近い金額は國防費として支出され建艦、機材整備等鐵鋼に關するものも直接間接に多大の需要を喚起し又續けるであらう。特に規格の嚴密なる軍需に在つては實際の消費量に比し能力を喰む事夥しく爲めに豫想以上に工場能力を減殺して市場向品の供給を阻止したのである。換言すれば實質以上の大なる需要と見るべきである。

之れに附屬して來つたものは滿洲の需要である、或は軌條に或は鐵橋に思はざる相當數量の消費をなした。

昭和 8 年の鐵鋼界を彩つた諸表

其 1	洋 鐵 指 數 と 物 價 總 平 均 指 數			
	洋 鐵		物 價 總 平 均	
	7 年	8 年	7 年	8 年
1 月	70	134	159.5	185.0
2 月	71	134	161.4	179.0
3 月	73	146	158.5	177.4
4 月	72	130	154.1	176.2
5 月	69	119	150.3	176.8
6 月	67	112	146.4	179.6
7 月	66	114	147.7	182.1
8 月	67	111	155.8	180.0
9 月	76	113	167.4	182.4
10 月	100	118	169.1	180.4
11 月	117	不明	177.9	不明
12 月	121	不明	181.6	不明

其 2 爲替相場の変遷
(當所先物協議會の爲替を探る)

	1 月	2 月	3 月	4 月	5 月	6 月
對 米	$\frac{1}{2}-\frac{3}{4}$	$\frac{1}{2}-\frac{3}{8}$	$\frac{1}{2}-\frac{1}{4}$	$\frac{1}{2}-\frac{3}{8}$	$\frac{1}{2}-\frac{3}{8}$	$\frac{1}{2}-\frac{1}{4}$
對 英	20- $\frac{1}{2}$	21-0	23- $\frac{7}{8}$	21- $\frac{1}{4}$	23- $\frac{3}{8}$	25-0
	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月
對 米	$\frac{1}{2}-\frac{3}{4}$	$\frac{1}{2}-\frac{3}{8}$	$\frac{1}{2}-\frac{1}{4}$	$\frac{1}{2}-\frac{3}{8}$	$\frac{1}{2}-\frac{3}{8}$	$\frac{1}{2}-\frac{1}{4}$
對 英	27- $\frac{3}{8}$	26- $\frac{7}{8}$	26- $\frac{3}{4}$	27- $\frac{7}{8}$	29- $\frac{1}{2}$	

其 3 外注値段の變化
(當所先物協議會に於ける河岸着換算)

	1 月	2 月	3 月	4 月	5 月	6 月
棒鋼ベース	98.55	96.13	97.17	99.69	107.24	109.14
鋼板ベース	113.92	108.09	104.42	120.82	128.39	131.66
	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月
棒鋼ベース	108.00	113.80	118.06	119.10	114.19	112.87
鋼板ベース	130.42	137.43	142.93	140.00	138.53	137.02

第 3 は造船である。絶対数としては或は大なるものではないかも知れぬ、品種が偏在した事と前述の需要と合體した爲め猶更重く響いた事は争はれぬ事實である。

然らば是等特殊需要を除いた一般市場向の需要はどうであつたか一言にして述べれば、可もなし不可もなしと見るが至當ではあるまいか、成る程銀行會社計畫資本調を見れば金額としても相當増加し直接鐵鋼に影響を齎すと思はるゝ製造工業に於ても新設 11 社増資 29 社を數へ、昭和 7 年のそれとは格段の差はあるも之れとて今の處迄に微温的に建築等に於てもさして目立つた事も無く、當所大型物の如きも昔の 6,000 噸程度の賣出しが最近 1 ケ年近い期間 3、4,000 噸に留まり其上他鋼材と異なり目星しい輸入も無いに不拘然も猶市場が今日の状態を見ると云ふのは取りも直さず消費力の不活潑を示すものではあるまいか。

需要の變態とも云ふべき輸出はどうであつたか。本年初頭に於て「昭和 8 年の一課題」として旬報で輸出の必要性及基礎の確立及び調査の切要を書いたが、悲しい哉、未だ醒めず、其基本たるべき調査に就ても一指を染むる處が只々眼前の内地の供給に隨喜し、眩惑されて誰 1 人顧る者もなく只々行くが儘に放置されて居るが、3 年後 5 年後に於ては恐らく臍を噛むの悔を残すであらう。

然し自然はよくしたもので爲替安の他力に擁護された事と前述の滿洲に於ける特異な需要に依り、大藏省貿易月表に據つて見ても「鐵」及「鐵製品」を合計して昭和 7 年中の輸出約 15 萬噸に比し今年 25 萬噸と、率にして 6 割増、數量から見ても 10 萬噸以上の増加となつて居るが、之は大部分が決して自力と云ふことは出来ぬ、今秋より特に顯著となつた各國の邦品排除の波浪を乗り越えて邁進する爲には徹底した生産費の低下と輸出の統制に努めて根底あるものとせなければならぬ。

之を綜合すれば本年の鐵鋼界は需要供給共に前古未曾有の數量で

あると共に然も猶 1 ケ年を通じ堅調裡に終つた事は特に成らんとする日本製鐵會社の創立と共に日本鐵鋼の劃期を形成したものである

然し是等の現象を書き出した原因が世界或は日本の經濟界全般の興隆に因つた普偏的のものでなく、軍需を中心とした偏頗な且つ一時的の需要に依つて此巨大な數量の需給の調節が採れて、無難な 1 年を過したと云ふことを顧ると匆忙の暮ではあるが將來に對し考究すべき幾多の事が腦裡を去來してならない。

其 4 プラツセル取引所輸出値段の推移 (1 ケ月の平均)

	1 月	2 月	3 月	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月
棒鋼	2-7-10	2-12-6	2-7-6	2-10-10	2-17-6	2-17-6	2-17-6	3-0-0
工形	2-3-0	2-6-0	2-4-6	2-7-6	2-13-6	2-13-6	2-13-6	3-16-6

其 5 内地値段の足取り

(a) メーカー値段

備考 (薄板 8 月以降は常盤會値段)

	大型等山	鋼板 9mm 定尺	薄板 13 枚	線材 5.5mm
1 月	93	108	205	125
2 月	93	113	210	130
3 月	94	115	210	135
4 月	96	115	—	—
5 月	98	116	160	—
6 月	99	116	162	115
7 月	99	116	162	—
8 月	101	116	150	115
9 月	103	116	158	118
10 月	105	118	165	120
11 月	105	118	—	120
12 月	105	118	—	112

(b) 市中相場と比較
(上、中、下旬の東京市中相場平均)

	1 月	2 月	3 月	4 月	5 月	6 月
丸 鋼 19mm	10.10	10.17	11.13	10.20	10.33	9.27
等邊山形 75mm	11.20	11.50	14.67	12.50	10.30	9.40
大型山 130mm	10.47	10.20	11.57	11.43	10.53	10.27
	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月
丸 鋼 19mm	9.40	8.87	8.77	9.10	9.03	8.70
等邊山形 75mm	9.53	9.10	9.20	10.37	10.07	9.80
大型山 130mm	10.50	10.33	10.73	11.77	11.30	11.00

2 月積三 S 會賣出協議會一据置

月日場所 12 月 11 日 製鐵所東京出張所

出席者 三井、三菱、高島屋、日立及製鐵

議 事 2 月積珪素鋼板賣出に關する件

1、値段 外注は 6 月以來一定不變に推移し僅かに爲替に依り上下を示すのみにて、今月も先月に比し爲替の動きだけの浮動に止まるのみならず、内地の情勢にも大なる變化もなきを以て値段は据置きと云ふ希望ありて、次記の通り本年 2 月以來 11 ケ月の据置きに決定した。

次 記

(イ) 電機機用珪素鋼板 B 1 級

函入のもの 1 噸に付 金 305 圓(据置)

裸バンド締のもの " 金 295 圓(")

(ロ) 電機機用珪素鋼板 C 1 級

函入のもの 1 噸に付 金 325 圓(据置)

(ハ) 電機機用珪素鋼板 D 1 級

函入のもの 1 噸に付 金 345 圓(据置)

(ニ) 變壓器用珪素鋼板 T 1 級

函入のもの 1 噸に付 金 420 圓(据置)

(ホ) 2 級品 2 割以内混入差支なし

2 級品の賣價は各々 1 級品賣價の金 30 圓引のこと

(ヘ) 珪素鋼板厚物は 1 級品は金 10 圓引 其他のものは各種共金 5 圓引のこと

2、數量 數量も大體先月通りの引受をなすことゝ決定した。

3、締切 12月18日

LATEST CURRENT PRICES OF FOREIGN ELECT. STEEL SHEETS

Tokyo, Dec. 11th. 1933

	English (Ex. 1/2 1/8)		American Ex. \$30 7/8)		
	Stalloy	Spec. Lohys	Apollo Special	Armco Trancor#2	U. S. Electrical
	(T)	(B)	(T)	(T)	(B)
Cif per lbs	£27-11-6	£21-2-6	\$133.88	\$135-91	\$105.20
	¥ 468.53	¥ 358.94	¥ 433.62	¥ 440.19	¥ 340.73
Interest 1. 3%	6.09	4.67	5.64	5.72	4.43
Import Duty	6.77	6.77	6.77	6.77	6.77
Landing Charges	1.10	1.10	1.10	1.10	1.10
Per Long ton	¥ 482.49	¥ 371.48	¥ 447.13	¥ 453.78	¥ 353.03
Per 1,000 kg	¥ 474.96	¥ 365.67	¥ 440.14	¥ 446.69	¥ 347.51

2、3月積美板會賣出協議會一据置

月日場所 12月11日 製鐵所東京出張所

出席者 三井、高島屋及製鐵

議事 2、3月積美裝鋼販賣出に關する件

1、値段の數量 美裝鋼板は大體需需向に従つて其契約も中止することは種々の故障を生ず、過去に於ける鋼板工場の混雜は美裝鋼板にも影響を及ぼしかなりの數量の積遅れもある今日賣止めも一案なるも前述の如き理由もあり、2 中板物に就て 250 吨許りの賣出しとし、値段も手持關係もあり市場の趨勢等より考察して今日は兎に角据置きと云ふことに兩者の意見が一致した。

2、締切 12月18日

1、2月積鉄力板賣出協議會一据下け

月日場所 12月13日 製鐵所東京出張所

出席者 製鐵、四社及東西問屋

議事 1、2月積鉄力板賣出に關する件

1、買手希望 外注は其後若干亂調子となり今月佛國品に極端なる安値物も出現し、内地の市場も如何に努力するも外國品に押されて 170 lbs にて 26 圓 2、30 錢、100 lbs にて 14 圓見當を保持し居るに留まり先行も不安なるを以て、兩者共 50 錢下げとし數量は外注を牽制する意味より成る可く多量の賣出しをせられたし。

2、賣手提案 買手説明通り⑤の鉄力も若干特別の市場を形成しあるも未だ完全に外注を押へ得ざるのみならず、一方外注値段も佛國物も決して當所と同等の品位にもあらず其點を加味し市場を堅確

Quotation for Tin Plate Jan. /Feb. Shipment

	German M. ke	100 lbs	170 lbs
C & F Price		\$ 7.85 (200 lbs.)	\$ 4.5
Exch. \$30/3/4		¥ 25.53 12.77	¥ 24.23
Ins. Interest		.28	.53
Duty		.72	1.22
Charges		.08	.10
		¥ 13.85	¥ 26.08
French Make			
C. I. F. Price			Fr. 118
Exch. 4.95			¥ 23.84
Interest			.23
Duty			1.22
Charges			.10
			¥ 25.39

ならしむる爲め据置きとしたきも買手希望もあらば今月は

170 lbs 25 圓 70 錢 100 lbs 13 圓 80 錢

とし數量は此値段に合理的なものを希望せられたしと云ふことであつたが強硬なる買手の希望もあり、決局其苦衷を諒とし兩者共猶 10 錢値下の次記に決定した。

記

170 lbs 25 圓 60 錢(40 錢下げ)

100 lbs 13 圓 70 錢(30 錢下げ)

數量は買手希望は其腹工合より多量と少量とあり取捨選擇して 600 吨の賣出しとした。

猶買手希望の大阪にて協議會開催の件は來年は大凡

3、4 回開催することゝした。

1、2月積精線會賣出協議會

月日場所 12月14日 東京丸ノ内會館

出席者 神戸、製鐵、岩井、安宅、日商

1、精線會の成立 特殊線材は今日まで製鐵所は岩井、安宅の 2 社にて特線會を作り其販賣と統制に努めて居たが、今回神戸製鐵所と協調して販賣する諒解が成つて從來神戸製鐵製品を扱つて居た日商を加へ改めて「精線會」を組織して今月其第 1 回協議會を開いた。

2、議事 1、2月積特殊線材賣出に關する件

a、値段 値段に就ては未だ賣出勿々にてもあり且つ 3 社の取扱方法も他の一般鋼材と其趣きを異にする爲め一般には發表せざることにした。

b、品種、數量 今月の賣出品種は次の 7 種である。

1 硬鋼線材 2 半硬鋼線材 3 低炭素及熔接線材(製鐵所は從來兩種を區分して居たが、品質を向上せしめて今回より兩者を同種とした)

4 電信線材 5 木捻子線材 6 太番線材 7 合銅線材

數量 製鐵所 1,300 吨 神戸 1,500 吨 計 2,800 吨

3、製鐵所製作の特殊線材の化學成分は次表の通りである

製鐵所特殊線材標準化學成分表

	C	Si	Mn	P	S	Cu
特別極軟線材 熔接線材	<0.07	—	0.25-0.40	<0.04	—	—
木捻子線材	0.08-0.12	0.15-0.12	0.25-0.40	0.05-0.10	—	—
合銅線材	0.08-0.12	—	0.25-0.40	<0.055	—	0.2-0.4
硬鋼線材	0.55-0.65	0.15-0.25	0.40-0.55	<0.04	—	<0.15
半硬鋼線材	(A) 0.25-0.35 (B) 0.36-0.45 (C) 0.46-0.55	0.15-0.25	0.40-0.55	<0.04	—	<0.15
電信線材	0.05-0.08 抗張力 > 35kg/mm ² 電導率 > 13.5% at 20°C	—	0.15-0.30	<0.04 (Cu=100%トシテ)	—	<0.15

線材斷面の寸法公差は±0.5mmにして同一斷面に於ける橢圓長短

徑の差は 硬鋼線材 半硬鋼線材 <0.5mm とす
其 他 <0.7mm

硬鋼線材並に半硬鋼線材にありては原料鋼片は酸洗の上充分疵削の手入をなすこと

硬鋼線材半硬鋼線材及電信線材に對しては檢定課の檢定を要するものとす。

4、外注値段次の通り

December 14, Th.

SPECIAL WIRE RODS

Dec. /Jan. 1933/4 Shipment

	High Carbon	Copper Bearing	Wood Screw
	\$ 36 00	£ 6-9-0	£ 6-17-3
Exch. \$30¼	119'00	Exch. 1/2½	169'58
Int. 1%	1'19	Int. 1. 3%	1'42
Charges	1'20		1'20
Duty	22'01		22'01
	¥ 143'41	¥ 134'21	¥ 141'33
Per 1,000 kgs,	141'28	¥ 133'22	¥ 139'24
	Welding	Low Carbon	Thick Gauge,
	£ 6-3-3	£ 6-2-6	£ 6-5-0
Ex. 1/2½	104'71	104'07	106'23
Int. 1.3%	1'36	1'35	1'38
Charges	1'20	1'20	1'20
Duty	22'01	22'01	22'01
	¥ 129'28	¥ 128'63	¥ 130'82
Per 1,000 kgs	¥ 127'41	¥ 126'73	¥ 128'88
	Telegraphic		
	\$ 33'50		
Ex. 30¼	110'74		
Int. 1%	1'11		
Charges	1'20		
Duty	22'01		
	¥ 135'06		
Per 1,000 kgs	¥ 133'06		

2、3月積先物の締切 — 申 込 29,000 吨
引 受 3,000 吨

市場の大型物に対する期待信頼は申込から眺めると一向減退しない。先月 2 萬 2,000 吨と申込の現象を呈したが今月は再び反撥して 3 萬吨近い申込となつた。

これも厚板と同様當所の引受數量を甘く見ての結果とは察するがそれにしても先行に期待が繋がれて居なければ決して斯る申込とはならぬ筈である。

地方別で東京が奮發して急増して 1 萬 3,000 吨の申込となつた。其内では溝形の申込が俄然増加して居るのは此需要増を認識したのと手持關係によるものである。大阪は漸増と云ふ程度で特に出色ではなく寧ろ待期と眺められる。

1、2月積先物引受高

工場別	2、3 小型	3 小形	1 中	2 中	1 大	2、3 大	4 型	合計
角鋼	—	—	—	—	—	—	—	—
平鋼	—	—	—	—	—	—	—	—
等山形	—	—	—	—	—	188	20	208
等溝形	—	—	—	36	—	170	—	206
溝工形	—	—	—	259	90	811	612	1,772
合計	—	—	—	—	—	712	104	816
	—	—	—	295	90	1,881	736	3,002

2、3月積先物申込高

品名	東京	大阪	名古屋	其他	合計
角鋼	—	—	—	—	—
平鋼	—	—	—	—	—
等山形	3,560	4,355	65	—	7,980
等溝形	5,815	6,000	340	302	12,457
溝工形	3,630	4,880	105	130	8,745
合計	13,005	15,235	510	432	29,182

品種で見ると溝形が非常に人気で常に斷然他を抜いて居る。之も 2、3 年を経過して見れば分らぬが、市場の聲では工形の需要は減退するが溝形は増加するであろう特に最近の消費筋の傾向が高層建築は無く倉庫や工場の増設新設が多いから特に溝形に偏在すると

も云はれて居る。

引受けは買手は察しの通り市場も香しくなく、工場も腹一杯であるから次記の通り 3,000 吨程度の引受とした。

大型	4 型	2 中	計
2,000 吨	700 吨	300 吨	3,000 吨

猶 1、2 月積の工場別引受高は前表の通りである。

1、2月積美装鋼板の申込と引受

11 月積では赤鷲タツタ 2 吨半であつたのが先月は 60 吨、今月は先月と比べれば若干減少はしたがそれでも 54 吨で増加の傾向には變りはない。數回に亘る技術者との打合せと販賣者の覺醒によつて、美装鋼板本然の境地の發見と其開拓に努めた結果と思はれる、青鳩の進出は理由から云へば赤白鳩の分野を侵蝕するものでなく別天地へ向ふものと思はれる、實際問題とすれば、グレーシャムの法則の働くのは已むを得まい。然し今日の處では白鳩が 200 吨を維持して居る處から見て未だ明瞭には表に現はれて來ない。引受數量は青鳩の分だけ先月より 100 吨となつた。

1、2月積美装鋼板申込及引受高 (單位 kg)

品 種	白鷲	赤鷲	白鳩	赤鳩	青鳩	計
B.W.G.						
# 22	—	16,000	—	—	—	16,000
# 20	1,500	16,000	—	—	—	17,500
# 19	6,500	9,000	7,000	—	—	22,500
# 18	2,000	8,000	2,000	5,000	—	17,000
1.6mm	65,000	5,000	120,000	10,000	—	200,000
2	7,000	—	—	—	—	17,000
2.3	20,000	—	30,000	—	—	50,000
3.2	25,000	—	45,000	—	80,000	150,000
4.5	—	—	—	—	5,000	5,000
6	—	—	—	—	15,000	15,000
計	127,000	54,000	204,000	15,000	100,000	500,000

1、2月積鉄力板の引受

今月の總數量は頭から割り當てたのである。

其申込の内容を見ると不相變 100 lbs は多い。絶對數から云へば 40 吨許りは増加してゐるが引受の増加から見ると寧ろ減少と見るべきであらう。

向先では權謀術數に富んだ大阪が割合に少なく東京の方へ大部廻つた様である。

1、2月積鉄力板申込及引受高

社 區 別	申込高	引受高			
		100lbs	170lbs	計	
東大名其	京	254	55	199	254
	阪	294	53	241	294
	古	25	5	20	25
	他	27	6	21	27
	計	600	119	481	600

2月積珪素鋼板の引受—減少

珪素鋼板が何時も同じ數量の申込を見るのは實需向として當然の傾向ではあるが勿論消長は脱れぬ。其原因にも 2 つあつて、電動機等の需要の消長は主として此の申込の多寡を誘ふが、他の 1 つは製品の加減は無くとも珪素鋼板の供給方面の相違によつても此現象は見られるのである。

今月は前月に比し寔に微細ではあるが減少の傾向である。前月であつたか平和状態の永續が疑問であると書いた様に覺えて居るが、此減少の原因が製品の需要減かそれとも他の供給者の進出が判然とは分らぬが、此現象に對しては研究すべき價值はあらう。

品種別では D 級が先月の 270 吨に比し 40 吨と格段に減少したのが目に付く

2月積理素鋼板申込及引受高

品 種 法	B 級	C 級	D 級	T 級	計
0.35mm	375	—	40	570	985
0.43mm	110	—	—	—	110
0.5mm	—	—	—	—	—
計	485	—	40	570	1,095

2、3月積美裝鋼板の引受

12月は整理月である。鋼材も或は賣止め或は減少等一意整理に専念して居る。

美裝鋼板も其例に洩れず、市場も香しからず、積遅れもあり、賣行も面白からず總ての點から考へて先づ數量を減少し、一方製作を容易ならしめて期限遅れを挽回し、常軌に還す爲め白鳩を中心とすることゝして次の通りの引受けに決定した。

昭和9年2月積美裝鋼板引受高調

寸 法	白 鷺	白 鳩	青 鳩	計
1'6mm×4'×8	10	50	—	60
"×5×10	—	20	—	20
3'2"×4×8	—	60	5	65
"×5×10	—	100	5	105
計	10	230	10	250

2) 3月積縞鋼板の引受—250 吨

縞板は實際の需給調節の如何は先へ行つて見ねば分らぬが現況だけでは一應製鐵所の數量では工場關係もあつて到底統制出來ず、從つて輸入の侵略を完全に防ぐことも不可能であるし、又市場も一段落となつたので製鐵所として無理の無い數量を賣出すことゝし今月は引受數量を前月より若干減少して250吨の引受到留めた。

引 受 數 量

	40mm	45mm	60mm	80mm	90mm	計
定尺	—	70	30	10	35	135
耳付	10	15	72	5	13	115
計	10	85	102	15	38	250

2、3月積厚板共販賣出理事會—据置

月日場所 12月12日 製鐵所東京出張所

出席者 川崎、淺野、東海、製鐵及4社

議 事 2、3月積厚板賣出に關する件

1) 買手希望 外注値段は別項の通り2志3片の値下りを見、結局河岸着に於て4圓堀みの下轄を示す一方、内地市場は耳付の手持増加と賣行極度に不振なる爲め漸落の一途を辿り、切板として大阪122圓、東京125圓見當を唱へて先行の見透しも付かず、それかと云ふて値下げをすれば手持關係より甚しく苦痛とする處なるのみならず、据置にては到底買ひ得ざるを以て今月は出來得れば賣止めとせられたし。

2) 理事會 (イ) 値段と數量 有爲轉變は萬古不易の世相である。昨日まではそれ賣れやれ賣れと大騒ぎして一時は15萬吨の申込を見た厚板に前述の様に買手側から賣止めの要望が出ようとは一寸考へ及ばぬ處であつた。

何故斯くも豹變したか、其原因は主としてアウトサイダーの進出等により先安氣構への杞憂と單なるシャー關係のみの考慮より出發したる様判斷せらるゝを以て共販としては強いて賣止めする理由も見出せざる故据置にて賣出すことゝした。

數量は前記の如き買手の態度なるを以て別に之を定めず申込を見たる上決定することにした。

(ロ) 雜 好轉の際には内外の小形切板、小形耳付、或は短尺等も一向何等の影響もない様に感ずるが、一朝軟化の聲を聞くと如實に是等のものゝ惡影響を痛感するが此内で内地の數量増加は大なる

原因たるは争はれざるも、それよりも海外よりの入荷の阻止が第一條件なるを以て共販として之が對策を講ずることとした。

3) 締 切 12月16日

M. S. Plate (6mm up) Dec. 12th

Feb./March

Cif	£6-12-0	
Ex. 1/2-5/8	¥110.67	
Duty	25.06	
Charges	2.50	
	¥138.23	Per L. T.
	¥136.05	Per K. T.

1、2月積線材共販賣出理事會—内地8圓下げ
輸出2圓下げ

月日場所 12月14日東京丸ノ内會館

出席者 神戸、製鐵及5社

議 事 1、2月積線材賣出に關する件

1) 買手希望 今月の線材は東西の状態を異にするので東西一致の意見を見出せぬ爲め次の2案が提出された。

1、2月積ロッド賣出希望案

1) 大阪案

(イ) 外注値段が著しく下落せし事

(ロ) 對英爲替が上昇せし事

(ハ) 釘、針金の賣行が内外共撻々しからざる事

等のため相場もどり安を續け製品相場より逆算すればロッド110圓見當の状態なり。

依りて1、2月積に對しては一方外注の誘發を防ぐ意味に於ても是非次記の通り値下げ斷行せられたし。

記 1、賣出値段	内地向	110 圓(10圓下げ)
	輸出向	95 圓(5 圓下げ)
2、賣出數量	内地向	6,000 吨
	輸出向	3,000 吨
	計	9,000 吨

1) 東京案 外注採算、市場製品値段より見る時は大阪案の内地物10圓下げ輸出物5圓下げも止むを得ざるべきも製鐵所、神戸共多少の積遅れあり11月、12月と2ヶ月分の手持となれる關係上幾分にて之を消化する意味より、又今回賣出のものは1月、2月積とは云へ現在の積遅れ状態より見れば2月3月渡となる故賣出と受渡月を近くする意味よりも來月初旬迄延期され度し。

大阪案の説明 東京案の如く賣止め説は其間市場を不安ならしむるを以て底入れ値殺にて相當數量を賣出されたし。

東京案の説明 製品としては針金8番135、6圓、釘にて8圓6、70錢なる故逆算して大阪案の値段を妥當と考ふるも、積出状態が別記の通り遅れ居る現状なるを以て之を緩和する意味も加へて賣出延期説となりたるにて若し積出が完全に履行されるれば當然大阪案通り賣出しを希望するものである。

2、理事會 日本に於ける線材としては將來は知らず、現在に於ては未だ内地独自の値段を建つる如き買手の希望案には賛意を表し兼ねるも一方共販が外注を膺懲する意味も加ふる時は若干値下げする必要を生ず、積出し状態は買手側の云ふ程の極端なるものにあらず然も賣止めも東西一致したる希望にもあらず、希望そのものも力弱きものなるを以て單に之のみの理由により賣止めすることは穩當を缺く故決局次記の通り若干値下げして賣出し數量は前月通りに制限することゝ提案した。

a 値 段	内地向	113 圓(7 圓下げ)
	輸出向	98 圓(2 圓下げ)

b 数量	製 鐵	神 戸	計
内地	1,000 吨	3,000 吨	4,000 吨
輸出	500	1,500	2,000
計	1,500	4,500	6,000

然し買手は内地向の 113 圓は感じの上より市場に影響する處もあるを以て是非 110 圓に近き 112 圓に決定されたと希望ありて之れを容れ次の通り決定した。

内地 112 圓(8 圓下げ) 輸出 98 圓(2 圓下げ)

3、締切 12 月 15 日

Quotation for Wire Rod

14th, Dec, 1933

Continental Make

Cif. Price
Exch. 1/2 3/8
Int. 1 3/4
Charge

Per long Ton

£ 6-0-0
¥ 100.17
1.30
90

Per 1,000 kgs.
Duty

¥ 102.37
¥ 100.75
21.67

¥ 122.42

1、2 月積線材の引受—6,000 吨

先月だけ申込を取つて見て筆者としては非常に参考になつて積りであつたが、無用論や弊害論まで飛び出し申込者の態度にも、御望み通りの数量を出すから云つて呉れなど云ふ不面目の話しへ出て來たので眞意を誤解された申込などそれこそ迷惑であるから、再び元へ還つて割當でだけ發表することにした。

割當では全然前月通りで 1 吨の狂ひもないから加ふべき一語もない。

1、2 月積線材申込及引受高

區別	先	申 込 高			引 受 高		
		神 戸	製 鐵 所	計	神 戸	製 鐵 所	計
内地向	東 京	—	—	—	881	501	1,382
	大 阪	—	—	—	2,119	314	2,433
	名 古 屋	—	—	—	—	185	185
	其 他	—	—	—	—	—	—
	計	—	—	—	3,000	1,000	4,000
輸出向		—	—	—	1,500	500	2,000

2、3 月積厚板共販締切理事会—申込 1 萬 4,000 吨

月日場所 12 月 18 日

出席者 浅野、東海及製鐵

議 事 2、3 月積厚板の申込と引受に關する件

買手側が賣止めを要望した手前もあり今回の申込は深甚の興味を以て迎へられたが其申込成績は別表の通り總數量 1 萬 4,000 吨に近い數量で、前月に比し 5,000 吨の減少を示したに過ぎず全く豫想外の結果であつた。

2、3 月積厚板申込及引受高

向 先	東 京	大 阪	名 古 屋	其 他	計
申 込 高	川 崎	—	1,725	—	1,725
	浅 野	995	255	—	1,250
	東 海	265	375	—	640
	製 鐵	1,905	4,225	30	6,160
	無 指 定	1,200	2,010	—	3,210
計		4,365	8,590	30	13,670
引 受 高	耳 付	—	3,240	—	3,240
	定 尺	—	400	—	400
	切 板	—	—	—	—
計		—	3,640	—	3,640

然し之を仔細に考へて見ると此申込數量は必しも市場の趨勢を其儘映じたものとも思へぬと云ふのは此度の賣出協議會では市場の軟

勢不味から一應は賣止めを希望はしては見たものの、之は單に買ひ度くないと云ふ位の比較的根據薄弱なものであつて仲介者が押し付けられれば押し付け得る程度のものと判斷されぬ事もない。そうなると仲介者として將來の事もあるし共販の賣出數量も分つて居るからどうせ引受けるなら申込數量などはい程恰好が宜いと云ふ様な不純な要素が多分に働いて居る様にも見られる。馬鹿に奥歯に物の挿まつた様な書き方ではあるが、どうもそう明瞭に書けぬので此邊で判斷願ひ度い。

兎に角、見た眼は洵に絢爛たる數量で賣れぬ事は無いので引受も前月と同様の別表の數量となつた。

2、3 月積小型山形の締切—申込激減して 1,400 吨

12 月 9 日に締切つた。12 月の月は常識から云ふても頭が重い、まして 10 月の好調の反動期の今年は特に冷たい感がする。戦けば尾花も化物となる。存在さへ忘れられた伸鐵も今になると非常な大工場の様に眼に映り空の様に思はれた時と同じ數量の在庫が山の様に感じられる。

小山の申込も先々月が 4,000 吨、先月が 2,800 吨、今月に到つては其の復半減の 1,400 吨となつた。製鐵所が半減、釜石が 1/2 である。之れで見ると未だ 3mm 厚などに若干の期待を繋いで居るのであらう。

引受は釜石は鶴呑みにしたと云ふ話は大きい、只の 200 吨であるから當然である。製鐵所は前月同様 600 吨の引受となり結局前月より 400 吨許り減少した譯である。

2、3 月積小型山形鋼申込高及引受高

區別	先	申 込 高			引 受 高		
		釜 石	製 鐵 所	計	釜 石	製 鐵 所	計
東 大 名 其	京 阪	80	565	645	80	268	348
	古 屋	115	520	635	115	300	415
	他	10	50	60	10	25	35
	計	21	17	38	21	7	28
	計	226	1,152	1,378	226	600	826

東 西 市 況—不 勢

追はるゝ如き年の暮は迫る。何もかも一應は締めくゝりたい。此氣持は全般に反映して 15 日以後は各工場も市中も皆買控へとなるに反し來勘は 15、6 日頃から持ち掛け者もあるし内々首を縦に振る者もある程の急はしきを見せ、一方大口見積も先づ先づ一段落と總ては歳末の營みに精進して居る。

然し不思議な事は此不振の賣行や年末に不拘、相場は大して崩れず、突飛な安値物も出ないと云ふことである。是れも要するに今迄繰り返した様に懷加減に依るものと判斷されるが今年もこんな沈滞状態の儘春を迎へる様に見られて居る。

大體堅實であつた昭和 8 年の市場を祝福し、併せて來春の多幸を祈つて市況の筆を擱く。

東 京 市 況

丸 鋼 丸鋼ベース程、床と天井が狭いものは他にあるまい。

90 圓の聲を聞けば逃げ、85 圓まで行けば買ふかと、たつた 5 圓の間を呻吟しながら彷徨して少しも落ち付きがない。今句も呼値は 87 圓だが、頗る怪しい成行と云はれてるが、扱て思ひ切つて下放れるだけの勇氣もなく逡巡して賣行不振と相俟つて腐れ切つて居る。6mm は大阪伸鐵に間接の影響を受けて下押し 9mm 12mm は伸鐵の進出に脅え中丸はベースに祟られて不味を續けて居る。

角、平鋼 商況前句と全く變らず、即ち角平共、伸鐵及民間分野物は小甘く物物は積出の不順調に依つて小堅いと云はれてる。

型鋼 中山は前旬は共販の賣止めによつて反復氣勢を示したが時は暮なり其上定期圓六軒以外のマバラ筋が、定期圓の筋書通りには踊らないので等山 100 圓の夢も現になるのには一寸間があるらしく此邊を低迷して居る、不等山は品薄が變らないので不相變堅調を辿り、只大型等山の 9×130 が變態的に小反撥を見せて居る。溝工は一進一退で概観して保合と見られて居る。

鋼板 16 は㊦の積出しを見て仕入値段迄は賣らうかの弱氣も動き 23 は比較的潤澤な爲め伸びず 32 だけは見積りの引き込んだものもあつて賣行は捗々しくはないが其割には驢りで中板中では一番興味を持たれ、135 圓位の押目買は潜んで居ると云はれて居る。45 は腰砕け、厚板は大阪の安値に鞘寄せして不味を傳へられて居る。

大 阪 市 況

丸鋼 ハロー・デッセンバー!! 我鋼材市場人否一般財界人の心に「年末」といふ拍車が入る一瞬間いまさらになづいた誰もが目覺しいスタートを切つて眞剣に走り出した、會話の戦ひ、如何にして儲け、如何にして安きを購ふかよき新年を迎へんために商業戦線は日一日と尖鋭化しスピード機關に煽られて市場人はアタマばかり先へ前のめりの角度をいやが上にも増してゆく、けれ共我鐵鋼界に關する限り目先何等手がゝりになる材料とて見當らぬ所から依然凡調裡に推移するであらう—そして 108 の除夜の鐘で、1983 年よ、アディュー!!

5mm 及び 8mm 等細丸は各メーカー共キャパシティーが高まつてゐる所へ例の伸鐵方面でも昨今はフルスピードで生産してゐるので市中在庫は豊富といはれ賣行不振と相俟つて相場はジリ安歩調を辿つてゐる。9mm は伸鐵のものゝ多量注入あり、荷動き捗々しからざる所から氣配は茲許弱保合と云はれ 12mm はメーカーよりの出廻り不順調なるため辛ふじて採算點維持。ベース物は正月接近と共に各メーカー共生産能率 100 パーセントと云はれ之れに反して賣行不振の折柄とて纏つた商内は出來ざるものゝ如く従つて市場は亂調子といはれてゐる。中丸は先般 113 圓に發表したが市場はこれに追隨せず昨今では逆鞘を示してゐる。太丸も他のものに連れてジリ貴。

極月に取急ぎたる婚儀かな

角、平鋼 角鋼は概して市中品薄であるが丸鋼の悪化に連れて氣配は茲許鈍調といはれ 28mm 等は在庫豊富にて相場は下押し氣味にあり。角鋼製鐵所分野ものは需給圓滑に行はれてゐる。平鋼 1/8" 厚は伸鐵組合の統制不徹底なるため頭重い、それ以上のものは賣行不振の所へ荷廻り順調なるため市中滞貨甚だしいといはれてゐる。

型鋼 小形アングルは先般來續落又續落の感ありしが各問屋共自覺したせいか昨今では強ひて安賣するが如き手合が市場から蔭を沒したらしく従つて相場は 10 圓 2、30 錢見當に落付いてゐるようである。中形アングルは先般共販の賣止め聲明と共に問屋筋では歩調を合せ市場統制に力瘤を入れてゐるらしく又一方アウトサイダーよりの安値品も引受け組合で全部買取つて市價の調節を計つてゐるので氣配は小驕りと云はれてゐる。大形アングルは最近賣行はやゝ鈍つた。従つて氣配は保合。チャンネル及びジョイストは市中偏在の様子にて唱へは區々ながら他鋼材は比してカツチリしてゐる。

鋼板 1、2 中板は市中ストックは相當ある所へ來年になればアウトサイダーよりの積出しも順調になるとの事で各手持筋では現在の在庫處分に吸々たる有様といはれ従つて相場は弱い。厚板は最近シャー並にアウトサイダーよりの荷廻り順調なる所へ地方筋よりの買控へのため全く浮ぶ瀬がないといはれてゐる。

線材 本月 14 日共販の賣値發表 112 圓は目下在庫僅少なる市場には大した影響はないようであるが一方アウトサイダーの賣値發表には相當神經を尖らせて首を長くして之を待ち侘びてゐるさうである。

鐵力板 過般米國品 7 弗、對米爲替 31 弗位で契約したものが昨今弗々入荷あり従つてこれら安値品のために製鐵所正品級は尠からず打撃を蒙つてゐる模様で賣行も捗々しからざる所から依然局面打開は困難とされてゐる。

販 賣 旬 報 の 休 刊

販賣旬報は特別の事情がなければ、例年の通り昭和 9 年 1 月 1 日附及び 11 日附の 2 旬を休刊し、昭和 9 年 1 月 21 日附より頒布することとした。

12 月 上、中 旬 各 種 輸 入 速 報

區分 品名		上旬				備考	中旬								備考
		神戸 本旬	大阪 本旬	横濱 本旬	合計 本旬		神戸		大阪		横濱		合計		
							本旬	本月累計	本旬	本月累計	本旬	本月累計	本旬	本月累計	
薄板(0.7mm以下)		—	—	—	—	自11月28日	—	—	—	—	—	—	—	—	自12月8日
鐵力板		95	461	171	727	至12月7日	281	376	286	747	384	555	951	1,678	至12月17日
線材	B.W.G.No.5	219	151	51	421		—	219	—	151	52	103	52	473	
	其	38	—	—	38		82	120	—	—	—	—	82	120	
	計	247	151	51	449		82	339	—	151	52	103	134	593	
中板	16mm	—	—	155	155		—	—	76	76	17	172	93	248	
	23	—	—	90	90		—	—	23	23	30	120	53	143	
	32	61	31	—	92		—	61	—	31	30	30	30	122	
	45	—	—	—	—		—	—	52	52	—	—	52	52	
	其	58	—	23	81		—	58	—	—	34	57	34	115	
厚板	計	119	31	268	418		—	119	151	182	111	379	262	680	
	6mm	—	—	—	—		—	—	77	77	3	3	80	80	
	8	—	—	—	—		—	—	25	25	—	—	25	25	
	9	—	—	—	—		—	—	25	25	66	66	91	91	
	12	—	—	—	—		—	—	24	24	—	—	24	24	
中山等邊	其	18	—	—	18		18	36	50	50	—	—	68	86	
	計	18	—	—	18		18	36	201	201	69	69	288	306	
	50mm	—	—	—	—		—	—	—	—	8	8	8	8	
	65	—	—	—	—		—	—	—	—	12	12	12	12	
	75	—	—	—	—		—	—	—	—	—	—	—	—	
其	90	—	4	4		—	—	—	—	—	—	4	—	4	
	100	—	—	—	—		—	—	—	—	—	—	—	—	
	計	—	—	4	4		15	15	—	—	—	—	15	15	
		—	—	4	4		15	15	—	—	20	24	35	39	

昭和 8 年 11 月中神戸、大阪、横濱三港輸入鋼材品種寸法別數量表 (單位噸)

寸 法	噸 數	寸 法	噸 數	寸 法	噸 數	寸 法	噸 數	寸 法	噸 數	寸 法	噸 數	寸 法	噸 數	寸 法	噸 數	
棒 鋼 の 部		3 $\frac{3}{4}$	2	4	9	205	6	鋼 矢 板		電 氣 鐵 板		6 $\frac{5}{8}$	232			
丸 鋼		4 $\frac{1}{4}$	8	4 $\frac{5}{16}$	2	其 他	58	計	67	0.5mm	51	8 $\frac{3}{8}$	504			
		4 $\frac{1}{2}$	7	4 $\frac{1}{2}$	3	計	1,942			1.0	10	12	6			
8mm	1	4 $\frac{3}{4}$	1	5	8	リ ボ ン		型 鋼 計		計		150mm	2			
10	2	5	21	6	4	計	249	條 鋼 計		61		159	1	其 他		
12	1	5 $\frac{1}{2}$	16	計				98		4.134		縞 鋼 板		156		
14	1	6	13	造船材料		150mm	1	鋼 板 の 部		6mm	26	鋼 管 計		968		
16	1	6 $\frac{1}{2}$	9	計	1			82		鋼板(0.7mm超)		8	10	其 併 鋼 材 の 部		
19	1	7	23			平 鋼 計	99		造船材料		9	15	特 殊 鋼			
22	1	7 $\frac{1}{2}$	5	計	13			六角計	95	1 $\frac{1}{16}$ "	250	鐵 力 板		丸 鋼		238
26	5	8	10			八 角 鋼	6			13	29	3 $\frac{1}{8}$ "	101	lbs		角 鋼
29	5	其 他	80	計	3,340			101	167			3 $\frac{1}{4}$ "	101	170	548	平 鋼
32	5	計	862			1	5			31	7	1 $\frac{1}{2}$ "	7	110	356	鋼 板
36	10	造船材料	20	3 $\frac{1}{16}$ "	10			400	3			3 $\frac{3}{8}$ "	3	100	17	其 他
40	10					52.5	5			1 $\frac{1}{8}$ "	5	5	2	3 $\frac{1}{2}$ "	2	90
45	10	計	25	2 $\frac{1}{4}$ "	22	2	1	3 $\frac{3}{4}$ "	1					80	12	計
50	25	丸 鋼 計	887					2 $\frac{3}{8}$ "	92	1	3	3 $\frac{1}{2}$ "	1	oil size	2,040	
55	31	角 鋼	3	2 $\frac{3}{4}$ "	1	5	26					3 $\frac{1}{2}$ "	131	其 他	1,270	鋼 材 總 計
60	26							1 $\frac{1}{4}$ "	1	3 $\frac{1}{2}$ "	8	1	10	3 $\frac{3}{4}$ "	1	
65	16	1 $\frac{1}{2}$ "	2	3 $\frac{1}{2}$ "	11	77	25							3 $\frac{1}{2}$ "	1	鋼 板 計
70	26							1 $\frac{1}{2}$ "	2	3 $\frac{1}{2}$ "	11	77	25	3 $\frac{1}{2}$ "	1	軌 條
75	29	2 $\frac{1}{4}$ "	1	4 $\frac{1}{8}$ "	53	2	21							3 $\frac{1}{2}$ "	1	寸法不明
80	21							2 $\frac{1}{2}$ "	1	4 $\frac{1}{4}$ "	53	2	21	3 $\frac{1}{2}$ "	1	計
85	20	2 $\frac{3}{8}$ "	2	4 $\frac{1}{2}$ "	53	2	21							3 $\frac{1}{2}$ "	1	計
90	26							3	1	5 $\frac{1}{4}$ "	53	2	21	3 $\frac{1}{2}$ "	1	計
95	5	3 $\frac{1}{2}$ "	30	5 $\frac{3}{8}$ "	53	2	21							3 $\frac{1}{2}$ "	1	計
100	19							3 $\frac{3}{8}$ "	2	5 $\frac{3}{4}$ "	53	2	21	3 $\frac{1}{2}$ "	1	計
110	20	9	1	5 $\frac{3}{4}$ "	53	2	21							3 $\frac{1}{2}$ "	1	計
115	25							1 $\frac{1}{4}$ "	3	6 $\frac{1}{4}$ "	53	2	21	3 $\frac{1}{2}$ "	1	計
120	5	1 $\frac{1}{2}$ "	1	7mm	53	2	21							3 $\frac{1}{2}$ "	1	計
130	5							2 $\frac{1}{4}$ "	2	25	53	2	21	3 $\frac{1}{2}$ "	1	計
140	10	2 $\frac{3}{8}$ "	30	30	53	2	21							3 $\frac{1}{2}$ "	1	計
150	20							3 $\frac{1}{8}$ "	2	30	53	2	21	3 $\frac{1}{2}$ "	1	計
160	5	3 $\frac{1}{4}$ "	1	30	53	2	21							3 $\frac{1}{2}$ "	1	計
200	10							3 $\frac{1}{2}$ "	1	30	53	2	21	3 $\frac{1}{2}$ "	1	計
1 $\frac{1}{4}$ "	2	3 $\frac{3}{8}$ "	1	30	53	2	21							3 $\frac{1}{2}$ "	1	計
1 $\frac{1}{2}$ "	1							3 $\frac{3}{4}$ "	1	30	53	2	21	3 $\frac{1}{2}$ "	1	計
1 $\frac{3}{8}$ "	7	3 $\frac{7}{8}$ "	1	30	53	2	21							3 $\frac{1}{2}$ "	1	計
1 $\frac{1}{4}$ "	1							3 $\frac{7}{8}$ "	1	30	53	2	21	3 $\frac{1}{2}$ "	1	計
1 $\frac{1}{2}$ "	2	3 $\frac{7}{8}$ "	1	30	53	2	21							3 $\frac{1}{2}$ "	1	計
1 $\frac{3}{8}$ "	1							3 $\frac{7}{8}$ "	1	30	53	2	21	3 $\frac{1}{2}$ "	1	計
1 $\frac{1}{4}$ "	2	3 $\frac{7}{8}$ "	1	30	53	2	21							3 $\frac{1}{2}$ "	1	計
1 $\frac{1}{2}$ "	1							3 $\frac{7}{8}$ "	1	30	53	2	21	3 $\frac{1}{2}$ "	1	計
1 $\frac{3}{8}$ "	7	3 $\frac{7}{8}$ "	1	30	53	2	21							3 $\frac{1}{2}$ "	1	計
1 $\frac{1}{4}$ "	1							3 $\frac{7}{8}$ "	1	30	53	2	21	3 $\frac{1}{2}$ "	1	計
1 $\frac{1}{2}$ "	2	3 $\frac{7}{8}$ "	1	30	53	2	21							3 $\frac{1}{2}$ "	1	計
1 $\frac{3}{8}$ "	1							3 $\frac{7}{8}$ "	1	30	53	2	21	3 $\frac{1}{2}$ "	1	計
1 $\frac{1}{4}$ "	2	3 $\frac{7}{8}$ "	1	30	53	2	21							3 $\frac{1}{2}$ "	1	計
1 $\frac{1}{2}$ "	1							3 $\frac{7}{8}$ "	1	30	53	2	21	3 $\frac{1}{2}$ "	1	計
1 $\frac{3}{8}$ "	7	3 $\frac{7}{8}$ "	1	30	53	2	21							3 $\frac{1}{2}$ "	1	計
1 $\frac{1}{4}$ "	1							3 $\frac{7}{8}$ "	1	30	53	2	21	3 $\frac{1}{2}$ "	1	計
1 $\frac{1}{2}$ "	2	3 $\frac{7}{8}$ "	1	30	53	2	21							3 $\frac{1}{2}$ "	1	計
1 $\frac{3}{8}$ "	1							3 $\frac{7}{8}$ "	1	30	53	2	21	3 $\frac{1}{2}$ "	1	計
1 $\frac{1}{4}$ "	2	3 $\frac{7}{8}$ "	1	30	53	2	21							3 $\frac{1}{2}$ "	1	計
1 $\frac{1}{2}$ "	1							3 $\frac{7}{8}$ "	1	30	53	2	21	3 $\frac{1}{2}$ "	1	計
1 $\frac{3}{8}$ "	7	3 $\frac{7}{8}$ "	1	30	53	2	21							3 $\frac{1}{2}$ "	1	計
1 $\frac{1}{4}$ "	1							3 $\frac{7}{8}$ "	1	30	53	2	21	3 $\frac{1}{2}$ "	1	計
1 $\frac{1}{2}$ "	2	3 $\frac{7}{8}$ "	1	30	53	2	21							3 $\frac{1}{2}$ "	1	計
1 $\frac{3}{8}$ "	1							3 $\frac{7}{8}$ "	1	30	53	2	21	3 $\frac{1}{2}$ "	1	計
1 $\frac{1}{4}$ "	2	3 $\frac{7}{8}$ "	1	30	53	2	21							3 $\frac{1}{2}$ "	1	計
1 $\frac{1}{2}$ "	1							3 $\frac{7}{8}$ "	1	30	53	2	21	3 $\frac{1}{2}$ "	1	計
1 $\frac{3}{8}$ "	7	3 $\frac{7}{8}$ "	1	30	53	2	21							3 $\frac{1}{2}$ "	1	計
1 $\frac{1}{4}$ "	1							3 $\frac{7}{8}$ "	1	30	53	2	21	3 $\frac{1}{2}$ "	1	計
1 $\frac{1}{2}$ "	2	3 $\frac{7}{8}$ "	1	30	53	2	21							3 $\frac{1}{2}$ "	1	計
1 $\frac{3}{8}$ "	1							3 $\frac{7}{8}$ "	1	30	53	2	21	3 $\frac{1}{2}$ "	1	計
1 $\frac{1}{4}$ "	2	3 $\frac{7}{8}$ "	1	30	53	2	21							3 $\frac{1}{2}$ "	1	計
1 $\frac{1}{2}$ "	1							3 $\frac{7}{8}$ "	1	30	53	2	21	3 $\frac{1}{2}$ "	1	計
1 $\frac{3}{8}$ "	7	3 $\frac{7}{8}$ "	1	30	53	2	21							3 $\frac{1}{2}$ "	1	計
1 $\frac{1}{4}$ "	1							3 $\frac{7}{8}$ "	1	30	53	2	21	3 $\frac{1}{2}$ "	1	計
1 $\frac{1}{2}$ "	2	3 $\frac{7}{8}$ "	1	30	53	2	21							3 $\frac{1}{2}$ "	1	計
1 $\frac{3}{8}$ "	1							3 $\frac{7}{8}$ "	1	30	53	2	21	3 $\frac{1}{2}$ "	1	計
1 $\frac{1}{4}$ "	2	3 $\frac{7}{8}$ "	1	30	53	2	21							3 $\frac{1}{2}$ "	1	計
1 $\frac{1}{2}$ "	1							3 $\frac{7}{8}$ "	1	30	53	2	21	3 $\frac{1}{2}$ "	1	計
1 $\frac{3}{8}$ "	7	3 $\frac{7}{8}$ "	1	30	53	2	21							3 $\frac{1}{2$		

昭和8年9月中國別輸入數量表

(單位 噸)

品 種	國 別	英	佛	獨	白	埃	和	典	合	關	印	其他	計	本 年 計
條及竿鐵(丸、角及平形にして徑邊又は幅 15mmを超えざるもの)		4	—	38	—	—	—	6	26	—	—	—	74	5,237
" (丸、角、平 の も の 其 他)		239	58	1,455	296	29	18	122	10	—	7	73	2,307	31,011
" (テ ー 形 及 ア ン グ ル 形)		330	4	1,640	235	—	5	—	2	—	—	61	2,277	21,636
" (其 他)		41	—	934	62	4	—	—	2	—	—	1	1,044	9,534
レ ー ル		—	—	45	—	—	—	—	704	2	—	28	779	2,067
フィツシユ、プレート		—	—	—	—	—	—	—	3	—	21	—	24	51
ワイヤーロード(巻きたるものにして徑 5mmを超えざるもの)		—	—	—	52	—	—	—	203	—	—	—	255	319
" (巻きたるもの其他)		—	—	182	161	60	—	448	315	—	—	103	1,269	31,714
鐵 板(金屬を鍍せざるものにして厚 0.7mmを超えざる珪素鋼板)		3	—	51	—	—	—	—	—	—	—	—	54	1,030
" (金屬を鍍せざるものにして厚 0.7mmを超えざるもの其他)		53	—	—	—	—	—	—	6	—	—	—	59	1,227
" (金屬を鍍せざるものにして厚 3mmを超えざるもの)		40	40	284	90	19	—	3	4	—	—	111	591	12,245
" (金屬を鍍せざるもの其他)		1,233	12	2,972	130	—	160	2	65	—	45	173	4,792	62,993
" (錫鍍したるもの)(葉鐵及葉鋼)		569	—	473	—	—	91	—	3,862	—	—	89	5,089	63,029
" (亞 鉛 鍍 したるもの)		—	—	49	—	—	—	—	47	—	—	7	103	662
" (其他卑金屬を鍍したるもの)		—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	102
鐵 線		19	—	5	3	5	—	19	67	—	—	1	119	966
リード、ワイヤー		—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	103
鐵 リ ボ ン		50	—	30	2	36	—	67	35	—	—	22	242	3,345
帶 (箍 鐵)		101	14	228	620	—	4	1	5	—	—	294	1,267	74,706
バラゴン、ワイヤー		—	—	76	—	—	—	—	—	—	—	—	76	149
線 索		—	—	—	—	—	—	—	103	—	—	—	103	156
撚 合 線		—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	57
バーブド、ツイスト、ワイヤー		—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	2
鐵 筒 及 管		20	—	366	21	31	—	9	446	—	—	—	893	6,321
特 殊 鋼 (税 表 一)		15	1	35	—	254	—	119	1	20	—	22	467	5,243
" (税 表 二)		—	—	1	—	8	—	11	—	—	—	5	25	118
鐵道車輛用車輪及車軸		—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
鐵道車輛用タイヤ		—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	118
鐵道車輛用スプリング		—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
合 計		2,717	129	8,869	1,672	446	278	807	5,907	22	73	990	21,910	334,211
フェロ、マンガニース		—	—	—	—	2	—	—	—	—	—	—	2	12
フェロシリコン及シリコスピゲルアイゼン		—	—	—	—	5	—	—	—	—	—	—	3	3
其他の不可鍛成鐵合金		—	—	1	—	—	—	—	—	—	—	1	2	431
シートバー(ティンバーを含む)		—	1,644	588	659	—	—	—	—	—	—	—	5,548	49,006
インゴット、プルーム、ビレット及スラップ		—	—	183	—	—	—	—	—	—	2,657	—	200	37,747
ケツガスチール及バンブスチール		—	—	—	—	—	—	12	—	—	17	—	12	195
其他の塊及錠鐵		—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	2
合 計		—	1,644	772	659	5	—	12	—	—	2,674	1	5,767	87,396
銑 鐵		—	—	—	—	—	—	—	—	—	12,673	28,142	30,815	478,147
屑 及 故 鐵		14,301	—	416	431	—	—	—	50,604	535	12,751	7,644	89,682	736,999

昭和8年11月中製鐵所品種寸法別生産高 (單位噸)

寸法	噸數	寸法	噸數	寸法	噸數	寸法	噸數	寸法	噸數	寸法	噸數	寸法	噸數
棒鋼の部		計 536		不等邊大形山形鋼		中鋼板		耳付厚鋼板		lbs		鋼線	
小形丸鋼		中形角鋼		mm mm		mm		6mm		170		6mm	
9mm	4,258	38mm	248	125×75	518	7.5	1	7	29	160	2	5	5
10	27	44	76	125×90	922	8	6	8	305	112	36	5	4
11	4	46	11	150×100	240	1	146	9	668	107	2	4.5	9
12	48	50	52	計 1,681		1.2	50	10	44	100	641	4	13
13	75	計 387		不等邊		1.4	13	11	197	95	238	3	30
14	5	角鋼計 923		溝形鋼		1.5	16	12	868	90	155	1.7	5
15	40	小形平鋼		mm mm		1.6	1,296	13	35	33	18	1.5	7
16	136	19mm	220	75×40	465	1.8	4	14	65	31	11	1.3	8
18	94	22	151	100×50	428	1.85	458	15	123	30	882	計 81	
19	148	25	319	150×75	1,226	2	93	16	325	29	303	線釘計 9,367	
21	70	32	183	6×2½	656	2.3	561	17	6	計 2,962		其他の部	
22	137	38	4	6×3	9	2.5	29	18	143	其他の鋼板		鍛成品	
23	20	44	1	計 2,784		2.6	14	19	31	美裝鋼板	307	普通鋼	65
24	5	50	41	工形鋼		2.9	158	20	106	汽罐用板	1	塊鋼	2
25	276	計 919		mm mm		3	76	22	16	鋼飛行機用	9	特殊鋼	7
28	98	中形平鋼		100×75	242	3.2	907	25	85	特種電氣	16	塊鋼	17
30	16	60mm	39	150×75	348	3.5	109	26	4	計 333		特殊電氣	76
32	63	75	468	200×100	666	4	241	28	15	鋼板計 21,876		其他	
36	5	90	139	250×125	1,022	4.5	367	30	27	軌條の部		外車輪	264
計 5,525		102	11	350×150	1,007	5	55	31	29	輕軌條		軸	539
中形丸鋼		115	2	450×175	1,053	5.5	4	32	15	6K	1,406	ナット	39
33mm	46	125	214	20"×7½"	783	6	1,401	35	7	8	460	ナット	40
40	79	3½"	111	24×7½"	320	8	1,070	38	16	9	459	ナット	3
42	11	計 1,152		乙形鋼		9	393	40	8	15	974	計 885	
43	17	平鋼計 2,071		mm mm mm		9.5	14	50	4	計 3,299		其他計 1,052	
44	45	其他の棒鋼		100×50×40	5	厚鋼板		綯中鋼板		重軌條		鋼材計 90,672	
45	2	特殊電氣	1	100×70×60	63	6	1,401	3.2mm	5	30K	3,128	銑鐵	
46	4	爐鋼丸	1	130×70×60	4	7	477	4.5	98	37	13,586	本所	50,695
48	24	計 1		130×80×70	95	8	1,070	5	1	40	6,730	戸烟	9,673
50	475	棒鋼計 12,578		150×75×65	53	10	633	12.5	1	45	100	岡	33,421
55	367	型鋼の部		計 220		11	5	13	72	計 23,544		計 93,789	
60	131	等邊小形山形鋼		丁形鋼		12	881	綯厚鋼板		附屬品		鋼塊	
65	315	2"×2"	1	2"×3"	20	6mm		6mm	335	F.P.9K用	82	普通鋼	127,874
70	22	3×3	20	3×4	39	8		8	21	15	103	塊鋼	24
75	90	計 1		球山形鋼		9		9	13	30	152	電氣爐鋼	1,635
80	151	棒鋼計 12,578		9×3½"	3	10		10	1	37	868	鑄造鋼	582
90	608	型鋼の部		鋼矢板		11		11	6	40	212	計 130,115	
95	60	等邊中形山形鋼		400×75	7	12		12	6	鋼片		シートバー	
100	996	65mm	1,028	400×100	18	13		耳付綯中鋼板		エレベーター用		外部向 7,204	
計 3,443		100	502	400×125	1,237	14		4.5mm	58	計 2,611		内部向 89,425	
大形丸鋼		等邊大形山形鋼		400×155	884	15		計 58		軌附計 29,454		計 96,629	
105mm	19	150mm	1,517	計 2,146		16		耳付綯厚鋼板		線釘材の部		外部向 8,176	
110	20	計 1,530		鋼板の部		17		6mm	106	線材		内部向 10,700	
115	29	等邊小形山形鋼		薄鋼板		17.5		8	21	5.5mm	6,347	計 18,876	
120	103	20mm	64	sheets	1,042	18		9	23	製釘材		短尺及屑鋼	
125	41	25	249	10	25	19		10	106	5.5mm	2,939	計 4,225	
130	195	30	142	8	99	20		11	76	計 2,939		鋼片	
140	6	35	60	7	215	21		12	1	鐵力板		鋼片	
150	96	40	78	計 1,872		22		12.5	12	計 1,259		鋼片	
160	5	50	371	型鋼計 16,345		23		14	14	計 1,259		鋼片	
170	6	等邊大形山形鋼		條鋼計 28,923		24		15	21	計 1,259		鋼片	
190	11	150mm	1,517	鋼板の部		25		計 196		計 1,259		鋼片	
200	81	計 1,517		薄鋼板		25.5		耳付中鋼板		計 1,259		鋼片	
計 615		等邊計 4,011		 sheets		26		5mm	4	計 1,259		鋼片	
丸鋼計 9,583		不等邊小形山形鋼		13	1,042	27		計 6,967		計 1,259		鋼片	
小形角鋼		mm mm	1	10	25	28		耳付中鋼板		計 1,259		鋼片	
9mm	2	50×35	1	8	99	29		5mm	4	計 1,259		鋼片	
12	186	計 1		7	215	30		計 4		計 1,259		鋼片	
16	117	不等邊大形山形鋼		6	1	31		計 4		計 1,259		鋼片	
19	202	mm mm	1	30	488	32		計 4		計 1,259		鋼片	
20	7	50×35	1	5m n	2	33		計 4		計 1,259		鋼片	
22	22	計 1		6	1	34		計 4		計 1,259		鋼片	
計 1,872		不等邊大形山形鋼		計 1,872		35		計 4		計 1,259		鋼片	

昭和8年11月中製鐵所品種別揚地別發送高

(單位噸)

分類		内地向													輸出向			合計		
		阪神		京濱		名古屋		其他		當所		計			滿洲	南洋	計			
		官廳	民間	官廳	民間	官廳	民間	官廳	民間	官廳	民間	官廳	民間	計						
品名	寸法	厚鋼板	6mm以上	88	5,528	1,646	2,418	2	389	1,181	354	—	61	2,917	8,750	11,667	—	—	—	11,667
中鋼板	1mm-6mm	131	3,089	241	2,589	17	301	613	68	—	40	1,002	6,085	7,087	—	—	—	7,087		
薄鋼板	1mm未満	3	1,289	4	811	1	—	1	—	—	80	9	2,180	2,189	—	—	—	2,189		
特殊鋼板	一括	—	138	1	153	—	4	—	—	—	3	1	298	299	—	—	—	299		
珪素鋼板	〃	—	125	—	679	—	—	—	375	—	37	—	1,216	1,216	—	—	—	1,216		
鍍力板	〃	12	903	68	1,766	—	13	—	161	—	186	80	3,029	3,109	119	—	119	3,228		
大形丸鋼	100mm超	—	210	98	510	—	1	30	—	—	2	128	723	851	—	—	—	851		
中形丸鋼	36mm超	131	1,805	333	542	—	104	143	11	—	64	607	2,526	3,133	—	—	—	3,133		
小形丸鋼	36mm以下	—	3,042	46	2,448	—	568	87	68	—	390	134	6,516	6,650	831	100	931	7,581		
大形角鋼	100mm超	—	23	64	52	—	—	31	—	1	—	95	75	170	—	—	—	170		
中形角鋼	36mm超	—	360	33	310	2	79	14	17	—	15	49	781	830	—	—	—	830		
小形角鋼	36mm以下	—	42	—	20	—	3	1	—	—	—	1	65	66	30	—	30	96		
中形平鋼	巾55mm超	12	541	63	212	—	38	45	21	—	6	120	818	938	—	—	—	938		
小形平鋼	巾55mm以下	—	223	6	274	—	71	1	—	—	2	7	570	577	—	—	—	577		
特殊形棒鋼	半丸、六角	—	3	—	—	—	—	4	—	—	—	4	3	7	—	—	—	7		
スケルブ	一括	—	—	—	84	—	—	—	—	—	—	—	84	84	—	—	—	84		
大形山形鋼	100mm超	624	678	189	250	—	—	126	180	—	7	939	1,115	2,054	—	—	—	2,054		
中形山形鋼	〃 50mm超	3	1,421	547	171	—	22	801	59	—	38	1,351	1,711	3,062	—	—	—	3,062		
小形山形鋼	〃 50mm以下	—	423	10	433	—	98	60	7	—	29	70	990	1,060	124	—	124	1,184		
溝形鋼	一括	51	2,263	64	1,680	—	41	101	62	—	42	216	4,088	4,304	26	—	26	4,330		
工形鋼	〃	115	2,675	10	1,060	—	10	323	497	—	284	448	4,526	4,974	81	—	81	5,055		
特殊型形鋼	球山 Z.T.	—	159	65	68	—	33	64	8	—	19	129	287	416	—	—	—	416		
鋼矢板	一括	—	184	—	627	—	69	—	23	—	157	—	1,060	1,060	44	—	44	1,104		
重軌條	22kg以上	2,956	493	7,859	698	—	61	3,740	2,575	—	—	14,555	3,827	18,382	4,884	—	4,884	23,266		
輕軌條	22kg未満	—	1,188	—	800	—	53	129	1,023	—	459	129	3,523	3,652	—	—	—	3,652		
軌條附屬品	一括	322	22	790	147	—	—	107	269	—	5	1,219	443	1,662	335	—	335	1,997		
線材類	〃	—	3,003	1	2,313	—	159	—	—	—	3,575	1	9,050	9,051	—	50	50	9,101		
販賣用鋼片	〃	5	225	11	578	—	24	4	—	—	5,46	20	6,289	6,309	—	—	—	6,309		
販賣用鋼塊	〃	—	—	—	—	—	—	—	—	—	30	—	30	30	—	—	—	30		
販賣用	〃	—	3,730	—	—	—	—	—	3,269	—	—	—	6,999	6,999	—	—	—	6,999		
シートバー	〃	—	—	158	—	—	—	88	—	—	—	246	—	246	—	—	—	246		
外車軸及品	〃	—	540	27	—	—	192	—	2	—	—	27	542	569	—	—	—	569		
鍛成短尺鋼	〃	—	518	—	483	—	—	—	—	78	38	78	1,231	1,309	—	—	—	1,309		
特殊鋼條鋼一括		—	122	—	142	—	—	—	—	—	—	—	264	264	—	—	—	264		
鋼材計		4,453	34,963	21,334	22,318	22	2,333	7,694	9,049	79	11,031	24,582	79,694	104,276	6,474	150	6,624	110,900		
銑鐵		—	1,561	—	2,604	—	—	—	—	—	—	—	4,169	4,165	—	—	—	4,165		
販賣用屑鋼		—	76	—	3	—	—	—	—	—	2,784	13	2,863	2,876	—	—	—	2,876		

東京大阪市中相場

(大阪 上 12月 5 日 中 12月 15 日 下 月 日)
(東京 上 12月 8 日 中 12月 18 日 下 月 日)

寸 法	12月上旬		12月中旬		月下旬	
	東京	大阪	東京	大阪	東京	大阪
丸 鋼						
6mm	10.60	10.10	10.40	9.60		
9	8.80	8.90	8.70	8.60		
12	"	8.80	"	8.70		
19	8.70	8.70	8.60	8.60		
25	"	"	"	"		
50	11.50	11.50	11.20	11.00		
65	"	11.40	"	11.00		
角 鋼						
9mm	9.90	9.90	9.80	9.60		
12	9.80	9.70	"	9.50		
15	"	9.60	"	9.50		
19	10.80	11.00	10.60	11.00		
38	12.50	12.50	11.80	11.50		
平 鋼						
mm mm						
6×38	9.20	9.40	9.00	9.00		
6×50	"	"	"	"		
6×75	11.50	10.00	11.30	9.70		
9×100	"	10.40	11.50	9.70		
12×100	11.60	"	"	"		
等 邊 山 形 鋼						
mm mm mm						
6×50×50	9.80	10.20	9.90	10.00		
6×65×65	"	"	"	"		
9×75×75	"	"	"	"		
9×130×130	11.00	11.60	11.20	11.00		
12×130×130	"	"	"	"		
15×150×150	"	12.00	10.90	"		
不 等 邊 山 形 鋼						
mm mm mm						
10×50×75	10.50	10.50	10.50	10.50		
10×75×100	10.30	11.00	"	"		
10×90×125	11.00	12.00	11.80	10.70		
9×100×150	"	11.80	11.00	11.30		
12×100×150	"	12.00	"	11.30		

寸 法	12月上旬		12月中旬		月下旬	
	東京	大阪	東京	大阪	東京	大阪
溝 形 鋼						
mm mm mm						
5×50×100	11.90	12.80	11.70	12.00		
6×65×125	12.50	13.00	12.50	12.50		
3/8×3"×6"	"	14.00	"	"		
3/8×3×8	11.50	13.00	11.50	11.50		
9×90×250	12.50	14.30	12.50	13.50		
10×90×300	16.00	18.00	15.50	16.00		
工 形 鋼						
mm mm mm						
5.5×75×150	11.00	12.00	11.00	11.30		
7×100×200	10.90	11.50	10.80	10.70		
9×150×300	11.50	12.10	11.20	11.00		
12×150×350	"	12.30	11.50	11.50		
10×125×250	"	12.00	11.80	11.00		
鋼 板						
mm						
1.6×3'×6'	14.70	14.80	14.30	14.00		
1.6×4×8	15.50	15.40	15.00	14.50		
3.2×4×8	14.00	14.20	13.80	13.50		
3.2×5×10	14.30	14.40	14.00	13.80		
6.0×4×8	13.00	12.90	13.00	12.50		
6.0×5×10	13.20	13.00	"	12.50		
9.0×4×8	12.90	12.50	12.60	12.00		
9.0×5×10	"	"	"	11.90		
薄 鋼 板 (13 枚)						
英 川	—	—	—	—	—	—
八 幡	57. 57. 54. 57.5	59. 59. 54. 57.5				
鋼 力 板						
米	lbs					
	{170 26.00 26.30		26.20 26.00			
	{100 14.30 15.00		14.30 14.50			
英	{170 25.80 26.00		25.70 26.00			
	{100 14.00 14.50		14.00 14.50			
八 幡	{170 26.00 26.30		26.20 26.30			
	{100 14.30 14.80		14.30 14.50			
線 材						
No. 井	120.00 120.00		115.00 117.00			

備 考 単位 100kg につき (置場値段)、但し薄板は 1 枚當り。線材は 1 筋當り。鋼力板は 1 箱當り。

昭和 8 年 11 月中三港鋼材輸入數量表

(單位噸)

品 區 分	神 戸	大 阪	横 濱	11 月 計	前 月 計	本年累計	前 年 同 期 累計
丸 鋼	219	396	274	889	1,469	29,748	6,481
角 鋼	22	30	13	65	157	3,811	1,254
平 鋼	65	14	27	106	221	13,182	4,868
等 鋼	—	388	44	432	1,293	23,760	741
溝 形 鋼	—	—	10	10	109	3,843	542
工 形 鋼	—	227	12	239	162	2,912	537
板 (0.7mm 超)	—	5	39	44	475	969	607
板 (0.7mm 以下)	88	2,249	299	2,636	2,098	72,091	6,592
鋼 力 板	—	—	1	1	—	2,492	10,737
鋼 力 板	577	2,678	1,134	4,386	3,438	57,742	49,647
鋼 力 板	—	435	—	435	583	2,753	3,773
鋼 力 板	259	1,144	191	1,594	987	24,382	18,871
鋼 力 板	67	—	—	67	63	2,253	9,245
鋼 力 板	7	195	767	969	617	6,596	5,142
鋼 力 板	190	157	3.1	648	1,269	14,065	7,726
計	1,494	7,918	3,112	12,524	12,946	260,599	126,763
硫 炭 酸 安	11,040	5	406	11,451	6,810	87,899	84,048
石 フ タ リ	—	—	—	—	7	106	156
ナ レ ヅ	46	12	31	89	84	2,793	2,893
					79	1,535	685